

人と夢を紡ぐコミュニケーションマガジン

FD

Fine Dream
Fukuoka University

福岡大学学園通信

2009 Winter / NO. 24

福岡大学

絆、新たに。



Fukuoka University 2009



75th Anniversary

contents

特集:

福岡大学創立75周年記念特別企画
75人メッセージ 03

就職・進路支援レポート

就職内定者座談会 07

福岡大学での「次なる学ぶ道」

福岡大学法科大学院 11

文理融合型環境系大学院 12

福岡大学NEWS

シンポジウム「紙おむつサイクルのこれから」を開催 13

FDホットライン

第10回 福岡大学技術交流会開催 15

教授の研究

井上 伊知郎 商学部 教授 17

本田 知宏 工学部 機械工学科 教授 19

OB・OGインタビュー

黒岩 宙司氏 21

東京大学大学院 医学系研究科
国際保健計画学教室 准教授

福大生ステップアッププログラム

第6回今を生きる教養講演会

北城 格太郎氏 23

日本アイ・ピー・エム株式会社 最高顧問
社団法人経済同友会 終身幹事

ViVaサークル 25

アメリカンフットボール部
落語研究部

Myチャレンジ

上本 茂基 さん 26

コカ・コーラウエスト株式会社 勤務
(コカ・コーラウエスト レッドスパークス 所属)

創立75周年記念事業募金

寄付者ご芳名一覧 27

HDセンター便り、新刊案内 31

ななくま通信 32

地域の福大サポーター

福大前～東七隈 編 37

福大生食探検隊 番外編

ラウンジ オアシス、ラウンジ 和、
アットホーム



絆、新たに。



Fukuoka University 2009

前に進む力が、歴史をつくる。

昭和9(1934)年5月21日のこの日、
福岡高等商業学校入学式が福岡県教育
会館で挙行されました。

福岡大学は、昭和9年5月21日に
福岡高等商業学校として産声をあげ、
今年で創立75周年を迎えます。
この大きな節目を機に、
教育、研究、医療の革新と振興を図りながら、
いつの時代にも順応できる「普遍性」、
独自の個性を発揮する「希索性」、
真理を追究する「純粋性」をそれぞれ高め、
そして文化の薫りがする風格のある大学、
次世代が憧れる大学、
社会に信頼される大学を目指します。
福岡大学は、75年の長い歳月を歩んできた
歴史や伝統を受け継ぎながら、
絆、新たに大きな一歩を踏み出し、
時代の最前線へと進んでいきます。





21 奥羽さん(理学部2年次生) 歴史を重ねて、より良い大学となしてほしいですね。
22 林さん(商学部3年次生) 今年はいろいろな事に挑戦して、思い出に残る大学生活にしたいです。



「ふれあいスポーツフェスタ」をサポートしてくれたサッカー部員
19 福里さん(人文学部1年次生) 今年は全国優勝できるように頑張りたい。
20 大村さん(スポーツ科学部4年次生) 75周年の今年、体育部会全体の大躍進を期待しています。



17 現役のJリーガーでもあるサガン鳥栖の河田さん(商学部3年次生) 福岡大学は、学習、課外活動ともに良い環境が整っています。2009年は、日本一を目指して頑張りたいです。



14 (社)福岡県サッカー協会ジュニア委員会の大穂さん 75周年を機にさらなる地域密着を進め、城南区を元気あるまちに。



18 現役のJリーガーでもあるアビスパ福岡の宮路さん(スポーツ科学部3年次生) どんなことにもチャレンジできる自由な学風が福岡大学の魅力。今年は、自分の夢を実現できるよう努力します。



15 堤校区フットサルキッズチームの指導をしている秦さん これからの日本の社会を担う、リーダーとなる人材を、この福岡大学で育ててほしいですね。



16 南片江校区自治連合会会長の加留部さん 福岡大学は、多彩な人材を育て、輩出されている評価の高い大学。これからも飛躍を遂げてください。

絆、新たに。



Fukuoka University 2009



平成20年新司法試験合格者
23 山口さん OBが「また学びたい!」と思えるような大学であってほしいですね。
24 瓦林さん 地域に密着した教育・修学支援を期待します。
25 瓜生さん アジアで活躍する人材を多数輩出してほしいですね。



30 酒井さん(医学部2年次生) 今年は、実習で自分を成長させる年にしたいですね。
31 三溝さん(医学部2年次生) 福岡大学は、いろいろな人と出会えて、明るい雰囲気。楽しい大学です。



FD10月号の配布を手伝ってくれたお二人
28 関さん (人文学部3年次生) 福岡大学には、安くておいしい学食があります。
29 池田さん (人文学部3年次生) 今年は思い出をたくさんつくって、内定をもらいます。



26 倉迫さん(商学部4年次生) 今年はいいよ社会人。活躍の年にします。
27 春山さん(法学部3年次生) 福岡大学の魅力は、「やりたいことにチャレンジできる土台があること」です。



2 前野 文雄 城南区長 祝75周年。2009年、城南区は、行政・大学・地域住民が一体となった、住み良いまちづくりに取り組んでまいります。



1 吉田 宏 福岡市長 長い歴史を刻まれ、九州を代表する大学になられたことに心から敬意を表します。地域と共に歩む親しみやすい存在と総合的な学府としての創造性が福岡大学の魅力です。



7 「ふれあいスポーツフェスタ2008」に応援にいらした武内さんご家族 福岡の地を盛り上げる、活気ある活動をこれからも続けてください。今後、ますますの発展を期待しています。

75人メッセージ

人をつくり、時代を拓く。
福岡大学
「人」そして「地域」と…絆、新たに。

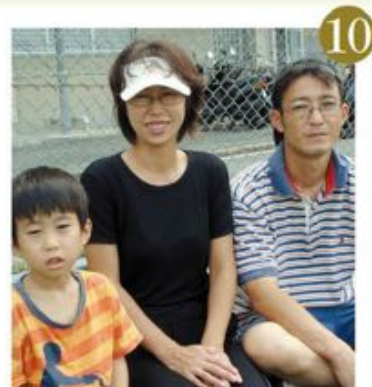
創立75周年を迎える福岡大学の魅力や福岡大学への期待、あるいは自分自身の今年の目標や抱負などについて、75人の方々にメッセージをお寄せいただきました。



「ふれあいスポーツフェスタ2008」をサポートしてくれた皆さん
3 木佐貫さん(法学部4年次生) 福岡大学は九州全域から学生が集まり、多くの出会いがある。
4 日高さん(人文学部4年次生) 今年は、社会人1年目。つらいことがあっても、私らしく頑張ります。
5 高瀬さん(人文学部3年次生) 今年は自分の限界に挑戦して、どんどん成長していきたい。
6 本田さん(工学部1年次生) 今年は自分にできる事を精一杯頑張りたいです。



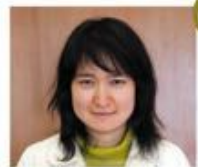
11 横倉さん(商学部2年次生) 目指せ100周年。福岡大学大好きです。
12 日村さん(人文学部外国語講師) 「より良い人材の育成」を大切にしたいと思います。
13 山口さん(商学部2年次生) 2009年、いろいろなことに挑戦したいです。



10 紙資源リサイクル関連企業にお勤めの新西さんご家族 福岡大学は閉鎖的なところがなく、学生が生き生きとしています。今後いろいろな行事を開催してください。



「ふれあいスポーツフェスタ2008」に出場した若きアスリート
8 坂本くん ドリブルを練習して、もっと上手になりたい!
9 平井くん シュートコントロールを上げるのが目標です。



68 「eco japan cup 2007」カルチャー部門でグランプリを受賞した幸喜さん(医学部5学年) 福岡大学の魅力は、地域に根ざした「優しさ」と九州の中心的存在であること。



69 学術文化部のお世話をしている学生課の山口さん 伝統を守り、さらなるステップアップを!! 2009年は、私にとっても飛躍の年です。



70 第13回「全日本高校・大学生書道展」で大賞を受賞した森さん(工学部2年次生) 福岡大学の魅力は、元気があって福大カラーが強いところ。今年は今までにない最高の年になりますように...



65 落語研究部に入っている交換留学生、福々亭 斬丸(きりまる)こと、ブライス・クラークさん 福岡大学は学生数も多く、国際色も豊かです。私と私の国のためにも頑張ります。



66 平成20年公認会計士試験に合格した今吉さん(商学部3年次生) 福岡大学の魅力は、学部がたくさんあり、自分の好きなことを自由に学べる。私にとって今年はさらなる飛躍の年です。



67 第13回「全日本高校・大学生書道展」で大賞を受賞した陶山さん(経済学部4年次生) 75年という歴史で培ってきたものを大切に、これからのさらなる発展を願っています。



56 岳野さん(スポーツ科学部4年次生) リーグ3連覇、九州制覇を果たした野球部にさらなる飛躍を! 57 甲斐さん(スポーツ科学部3年次生) 2009年は、いろいろなことを経験して学んでいきたいです。58 門脇さん(スポーツ科学部3年次生) これからもスポーツの強い福岡大学であってほしいです。



62 国際センター事務室で交換留学生の受け入れを担当している真名子さん 福岡大学では200人近い留学生が学んでいます。留学をしなくても異文化に接するチャンスは意外に多いですよ。



63 第8回「全国ドイツ語スピーチコンテスト」でチャレンジ賞を受賞した西さん(人文学部2年次生) 2009年は、将来を見据えつつ、さまざまなことに挑戦し続ける年でありたいと思います。



64 第7回「中国語弁論大会」で最優秀賞を受賞した井田さん(人文学部4年次生) 福岡大学の魅力は、留学生の受け入れに積極的で、留学生と交流する機会が豊富にあることです。



59 産学官連携センターで、産業界、行政機関などの研究連携の窓口を担当している久我さん 多くの人が集う福岡大学。75周年を機に、培われた伝統と、時代の求めるイノベーションが融合する大学に。



60 第1回「高校生・大学生による韓国語弁論大会」で最優秀賞を受賞した江上さん(人文学部2年次生) 韓国への交換留学という目標がかなった。2009年は、そこからまた上昇志向を持って自分のスキルを磨いていきたいです。



61 第8回「全国ドイツ語スピーチコンテスト」で優秀賞を受賞した片岡さん(人文学部2年次生) 2009年! いよいよ大学3年生。大人の自覚を持って行動したいと思っています。



旅行コーナー(JTBトラベランド)の皆さん 38 上野さん 緑に囲まれた広大なキャンパスに全ての学部があるのが福岡大学の魅力です。39 立山さん 接客を通じて皆さんの志の高さ、お互いを尊重される姿勢が福岡大学の魅力だと感じています。40 池松さん 福岡大学は、学生が元気で明るく、活気に満ちています。



43 中尾さん(大学院薬学研究科2年次生) 2009年、社会人として頑張ります。44 吉村さん(薬学部助教) 多くの友人をつくることができるのが福岡大学の魅力。45 白石さん(薬学部4年次生) 福岡大学に入学して良かったです! 46 藤岡さん(薬学部4年次生) 学生の将来の道しるべとなるような大学であってほしい。47 西田さん(薬学部助教) 学ぶための施設・設備が大変充実しています。



52 寺井さん 学生数が多く、にぎやかな学風が魅力です。53 浅井さん 歴史と実績を積み重ねていきたいです。54 種村さん 2009年、自分の限界に挑戦します。55 山下さん ついに今年は大人の仲間入です。(皆さん人文学部1年次生)



32 吉弘さん これからも良い大学であってほしいです。33 神崎さん 福岡大学は、とにかく広〜い。34 宮口さん 2009年は飛躍の年です。35 井田さん 教授の「個性」が光っています。36 原田さん みんなが親切で友好的です。37 田川さん 福岡大学が大好きです。この大学を選んで良かった。(皆さん商学部1年次生)



42 「第4回WBTFインターナショナルカップ」(ソロトワールアダルト部門)で優勝した中村さん(経済学部4年次生) 個性豊かな学生が集まる福岡大学。75年といわず、100年先も200年先も「福岡大学」の名を残していってほしいです。



41 元福岡ダイエーホークスで2000年の連覇に貢献した渡邊さん(スポーツ科学部助手、硬式野球部投手コーチ) 75周年は一つの通過点とし、これからもいろいろな分野で活躍する人材が輩出されることを期待します。



国土交通省が後援する2007年度「景観開花。」設計競技で優秀賞を受賞したメンバー 48 幸さん 社会で活躍されている先輩が多いのは誇りですね。49 池田さん 今年は、学生の殻を破り一人として生き始める年です。50 山住さん これからも魅力ある大学づくりを目指してください。51 梅野さん これからもさらなる飛躍を期待しています。(皆さん大学院工学研究科2年次生)



就職内定者座談会

在学生の就職活動をサポートする就職・進路支援センターには、就職が内定した4年次生が後輩たちにアドバイスをしてくれる「学生アドバイザー」という制度があります。就職活動を行っている学生にとって最も身近な先輩たち。今回はそんな「学生アドバイザー」や「インターンシップ」の経験者に集まってもらい、就職活動を振り返っていただきました。この中に就職活動のいろいろなヒントがありました。

その仕事を選んだ理由

参加者 濱本文弘さん
経済学部4年次生
内定先：SMBCフレンド証券(株)

参加者 畑中 玲子さん
経済学部4年次生
内定先：九州電力(株)

参加者 倉迫 諭史さん
工学部4年次生
内定先：西部ガス(株)

進行役 中村 信博
(商学部教授)
就職・進路支援センター長

参加者 原 圭嵩さん
工学部4年次生
内定先：本田技研工業(株)

サブ進行役 鮎川 洋平
就職・進路支援センター事務室員

中村センター長・皆さん、就職内定おめでとうございます。内定を勝ち取るためには、さまざまな苦労もあったと思いますが、まず「その仕事を選んだポイント」を聞かせてください。

畑中(九州電力(株)内定)：私は以前から人の生活を支える仕事したいと思っていました。毎日の生活に欠かすことのできない電力の供給を行っているのが九州電力。多くの人の生活を豊かにするような仕事ができたらうれしい。だからこの企業を選びました。

原(本田技研工業(株)内定)：小さい頃から自動車好きで高校時代から車を作る仕事に就こうと考えていました。そのためにはどこに進学すべきか十分に考えて、機械工学こそ自動車造りのすべての中心になると思い、福岡大学の工学部を選びました。数ある自動車メーカーの中で本田技研

工業を選んだのは、「ひと」を大事にする企業だと思ったからです。

中村：原さんのように、早くから自分が進みたい道が見えていれば、主体的に学ぶようになり、学生生活が充実しますね。

倉迫(西部ガス(株)内定)：私はまず福岡で働きたいという希望がありました。西部ガスなら、街で擦れ違う人のほとんどがお客さまですね。もう一つは、博多どんたくに出られるような企業に就職したかったというのがあります(笑)。

濱本(SMBCフレンド証券(株)内定)：父が金融関係の仕事をしていて、その父にあこがれていたというのが理由の一つです。小さいときから自宅には日本経済新聞があつて、自然とそれを読んでいました。最初は銀行を中心に就職活動をしていました。その中で、投資を通じて社会を豊かにしたいという思いが強くなり、ならば、その専門である証券業界に身を置きたいと考えるようになりました。でも、一番の決め手は担当していただいた人事の方の優しさですね。この人たちと一緒に働きたいと本気で思いました。

中村：地元希望者にとって地域貢献もできる、理想的な企業選びでしたね。

講座やセミナーについて

中村：お父さんの影響というのは、それだけ親子のコミュニケーションが図れていたということですね。違う世代と話す機会

鮎川センター事務室員：福岡大学には正課の授業とは別に「キャリア形成支援講座」や「インターンシップ」など、いろいろな講座やセミナーがありますが、皆さんはどのように活用しましたか？

倉迫：2年次から「キャリア形成支援講座

座」に参加しました。とにかく人よりも早く動き出したという気持ちがありました。講座を受けたことで自分の将来について考えることができました。それから「インターンシップ」では、不動産関係の会社で研修を受けました。不動産業は大きな契約で華やかなイメージがあつたのですが、実際には汗水流す営業の世界。でも、そういう営業の大切さも分かりましたし、ものすごく役に立ちました。社会に少しでも触れることで、社会で働くイメージを持つことができました。

濱本：私も「インターンシップ」に参加しました。大学が窓口となる「インターンシップ」に参加するためには、まず就職・進路支援センターの選考をパスする必要がありますが、そのためのエントリーシートの書き方一つをとってもいい経験になりました。実際に「インターンシップ」では、挨拶やビジネスマナーなど当たり前のことを徹底してやっておくことの大切さを知りましたし、他大学のインターンシップ生との出会いも刺激になりました。

就職・進路支援センター長
商学部教授

中村 信博

Nobuhiro Nakamura

学生生活の過ごし方が
あなたの人生を変える!

自分の将来を見つめ、今なぜ勉強すべきなのかを考え、学ぶ意欲を高めましょう。また、感動体験が多いほど幸せな人生に近づきますから、いろいろなことに挑戦し、規則正しく充実した毎日過ごすことで、頭と心と体に良い刺激を与えましょう。



自分の強みを見つけてください

原 圭嵩さん

自分はこの分野なら決して負けないというものを早く持ってください。何でも平均的にやれるというより、何かに秀でた方がいいと思います。自分の強みを自分で見つけることができればきっと役に立ちます。



「キャリア形成支援講座」の受講を勧めます

倉迫 諭史さん

自分自身が早く動き出したことでもあります。皆さんも1、2年次生のうちに就職・進路支援センターを身近なものと考えて少しでも早く行動してください。「キャリア形成支援講座」も絶対受講した方がいいと思います。



就職・進路支援レポート

就職内定者座談会

中村：そう、やっぱり自ら考え行動することはすごく大事ですね。それが自信にもつながりますからね。自信を持つには成功体験を積み重ねることが一番だと思いますが、成功は失敗を繰り返してからやってくるもの。まずは失敗を恐れずに自分から積極的にやってみることをですね。

畑中：私は1年次生のときに自分でインターンシップ先を探しました。ベンチャー起業論を勉強していたこともあって、地元の小さなインターネットテレビの会社に飛び込みました。「インターンシップ」とはいえ

9カ月もお世話になって、最後は電話営業や取材もするようになっていました(笑)。ただ、長く居たことで2年次生の終わりにくらいに自分が何をやってきたのか分わらなくなったことがあったんです。そこでセンターの「自己発見講座」を受けて「私は2年半何もしなかったわけじゃないんだ」と逆に自信を持てるようになったんです。原：私も企業に自分を知ってもらうことが一番大事だと考えて、まず自己分析をきちんとやりたいと思いました。そこで「自己発見講座」を受けて今まで気付かなかった自分を発見することができました。

それが大変役立ちました。

中村：「インターンシップ」で学ぶことの「ミニミニ」ゲーショ能力がありますが、それはいかに上手に話をするか、ということではありません。自分が分かっていることは相手も分かってくれているという勝手な思い込みは社会では通用しません。この人はどこまで分かってくれているんだろうと、相手の立場に立って考えることが大事です。そのために相手の話をきちんと聞くことも大切な「コミュニケーション」なんです。

自分から動きだしたきっかけ

畑中：皆さんは何かしら自分で行動しなければと思って、いろいろな講座や「インターンシップ」に

早くから参加した人ばかりですが、そもそも早くから行動しようと思ったきっかけは？
倉迫：入学してからそれまで自分が講義を受ける以外に何もしてなかったことに對する不安がすごく大きかったです。その不安を解消するために少しでも早く就職について考えようと思いました。

中村：なるほど。不安は誰にでもあるものですが「自分はダメだ」と思わずに、不安そのものを自分から動きだすきっかけにできればいいですね。

原：私は車を造ることが夢だと言いましたが同じ「つくる」というのも、部品を作ったりラインで作業をしたりする「メーク」ではなく、車を「クリエイト」したいんです。小さい会社ではそれは難しいと思って、どうしても大きな企業に入りたかったので、入学してすぐ就職・進路支援センターのデータベース(就職情報システム)で先輩たちの就職先を確認しました。先輩たちも大きなメーカーに就職されていたので、それがすごく自信になりましたし、早くから動きだすきっかけにもなりました。

中村：仕事の基本コンセプトから携わりたいのですね。正課教育で創造力の重要性に気付いたことを話してもらえますか。

原：セグウェイの設計をやる授業がありました。設計図をゼロから創造する授業だったのでそれに近いと思います。授業で黒板に書かれたものを自分の頭の中で三次元化していくのはすごく楽しいですね。

中村：そう、楽しく学ぶことが一番です。仕事にしても同じことで「楽しむ」というキーワードは社会に出ても忘れないでください。

濱本：私は単純に金融に興味がありました。希望の「インターンシップ」の選考に漏れていたら、他の業種の「インターンシップ」には参加しなかったと思います。それだけ金融に興味がありました。

中村：自分から行ったインターンシップの会社に先輩がいたのがきっかけです。その先輩が就職活動を始めたのを見て、なぜか自分でもすごく焦って…。でも、私にはまだ1年あると思えて落ち着いて取り組むことができました。ですから私にとってはその先輩の存在が大きいですね。

就職・進路支援センターの活用

畑中：それでは皆さんが就職・進路支援センターを活用して良かったと思う点は？
畑中：「キャリアカウンセラー」の方による個別のアドバイスに、とても勇気付けられました。カウンセリングと聞くと、つい

身構えたり、一歩引いてしまったりしますが、まずは話を聞いてもらうことですね。最初は不安で、自分でそれをどう話せばいいのかも分かりませんでしたが、話すことの難しさを実感できるだけでもいいと思います。

倉迫：私が驚いたのは4年次生が務める

「学生アドバイザー」の存在です。3年次生のときに話を聞いたのですが、たった1年違っただけなのに自分とすごく差があるように感じました。自分が思ったことを人に伝える力が全く違うと思いましたね。それに気付くことができたのは大きかったです。目標にもなりまし、この先輩を越えてやろうという意欲もわきました。今は自分がその立場として少しでも先輩たちの役に立ちたいと思っています。

中村：本日の座談会への参加、ありがとうございました。卒業まで残りわずかとなりましたが、これからも時間の許す限り、先輩たちの相談に乗ってあげてください。

首都圏での就職活動をバックアップ

「東京事務所」を活用しよう！



福岡大学には首都圏での就職活動を支援する「東京事務所」があります。首都圏の企業の採用情報を収集するだけでなく、就職活動のために上京する学生の支援や首都圏で勤務する卒業生との連携などを行っています。

東京事務所駐在員の小田耕司さんによると、「首都圏で働いている福岡大学の卒業生はすでに6,000人を超えています。首都圏の企業の間でも、本学卒業生の評判はとて素晴らしいです。『もっと首都圏に来てほしい』という声もよく耳にします。これは首都圏で働いている先輩たちが築いた信頼です。ですから、学生の皆さんは自信を持って首都圏での就職活動に動んでください」

また、小田さんは、日頃から首都圏の企業を訪ねて集めた採用情報を、毎年10月に本学で開催する就職情報交換会の場で提供もしています。

小田さんからは、「この東京事務所は学生のための施設。就職活動に限らず、どんな形でもいいから活用してください。就職活動は3年次生からとは限りません。1、2年次生のうちにアルバイトをしながら、そこで働いているという意識を持って取り組んでほしいと思います。希望の業種にアルバイトがないという人は、まずそこに行って「働かせて」と言ってみる。それくらい

の意気込みが欲しいですね」との熱いメッセージです。



①事務所にパソコンは自由に利用できます

②場所はホテルオークラの東側にあるビルの4階。迷ったらずまず事務所へ電話しましょう



福岡大学 東京事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番14号
郵政福祉ビル4階
TEL 03-3501-6629

就職・進路支援センター事務室員

鮎川 洋平

Youhei Ayukawa

就職や進路について考えることは簡単なことではありません。だからこそ、大学生活を通し、時間をかけて自分自身と向き合い、将来について真剣に考え、毎日を充実させるよう意識して過ごしてください。毎日の積み重ねが皆さんの未来につながります。

③座談会参加者が「企業にお礼状を書くときに参考になった」と口をそろえる「就職サポートブック」、先輩たちの就職活動の動きが分かる「就職活動体験記」は、ともに就職・進路支援センターで入手できます



まずは就職・進路支援センターに行ってみてください

畑中 玲子 さん

何をしたらいいのか分からないという人は、まず就職・進路支援センターに行ってみてください。就職活動はとても大変ですが、社会人になったら二度とできない貴重な体験です。それを忘れずに頑張ってください。



「インターンシップ」に挑戦してください

濱本 文弘 さん

「インターンシップ」は挑戦するだけでも十分に意味があります。私は金融に絞りましたが、企業説明会などは業種を問わず、できるだけいろいろな企業を見ることをお勧めします。悔いを残さないよう精一杯頑張ってください。



文系学部からでも進学できる

文理融合型環境系大学院

福岡大学大学院 工学研究科
資源循環・環境工学専攻
エネルギー・環境システム工学専攻

教授より年上の大学院生も、両専攻を勧めます



⑤大学院生の林さん
NTT時代の経験を生かし「産業廃棄物の不法投棄についての企業の社会的責任」を研究中

「経済的な理由で大学に行けず当時の電電公社に入社。以来、仕事一筋に打ち込んできました。しかし、子供が社会人として一人立ちしたこともあり、いろいろな勉強をしたいと福岡大学商学部を受験し、59歳で大学生になりました。商学研究科の時、文理融合型の専攻の存在を知り、仕事でも省エネなどの環境問題に取り組んでいたの、再度、環境分野に挑戦したいと思い入学しました」

指導教授の松藤康司教授は「どっちが教授か分かってしまよ?」と笑いながら、林さんを次のように評します。

「林さんは社会人としてすでに環境問題の実践を積んできているので、修士課程の院生に生きたアドバイスしてもらっています。おかげで教育研究上の素晴らしい相乗効果が生まれています」

文部科学省「魅力ある大学院教育」 イニシアティブ事業として注目を集める 「資源循環総合演習による実践的環境教育」

資源循環・環境工学専攻で行われている「資源循環総合演習による実践的環境教育」プログラムは、文部科学省の「魅力ある大学院教育」イニシアティブに採択され、各方面から注目を集めています。

「両専攻の海外インターンシップに参加し、マレーシアに行きました。現地では宗教観の違いや言語の複雑さに驚きました。実際に現地に行かないと体験できないことがたくさんあります」と林さん。

松藤教授はこう語ります。

「環境問題を究めるには、その国や地域の文化や歴史、宗教観なども理解しておく必要があります。単に技術だけを身に付けていても本当の問題解決にはなりません。だからこそ文理融合型が重要なのです。」

また、海外に出て実際に五感で感じる事が大事。どんなにインターネットが発達しても疑似体験では決して分かりません。これからは文系の学部とも相互乗り入れをして、総合的に環境問題と向き合える人材を育てていきたいと考えています」

⑥インターンシップで訪れたマレーシアでの研修の様子(左端が林さん)



④院生の声を聞くための目安箱。一人一人の声が生かされ、教育環境の向上へとつながっています

「努力することの大切さ」について自信を持って語ることができる気がします。それを後輩たちにも伝えたいですね」(瓜生さん)

に対応していただける、アットホームな雰囲気がありましたね。随分扱いづらい学生だったと思いますが、今では本当に感謝しています」(山口さん)

また、これから司法試験を目指す大学院生、そしてこれから法科大学院を目指す人たちのアドバイスをいただきました。

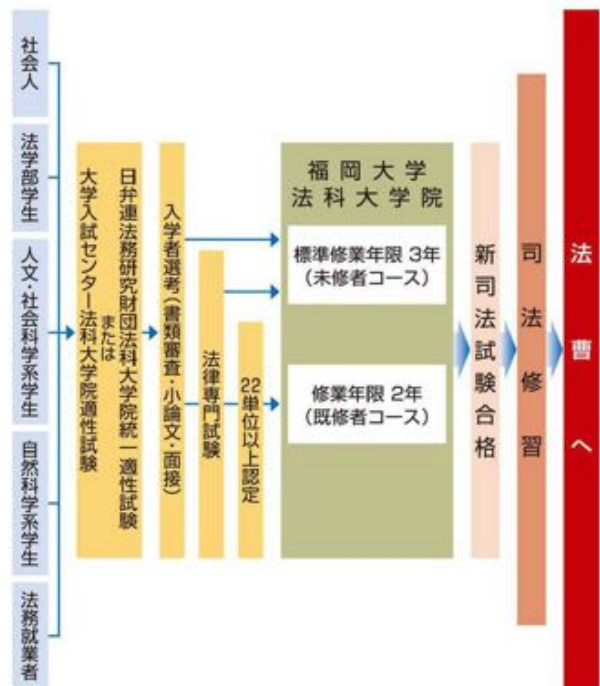
「自分の子どもが目標となる職業を思い、弁護士を目指しましたが、今は職業そのものを語るよりは、『努力することの大切さ』について自信を持って語ることができる気がします。それを後輩たちにも伝えたいですね」(瓜生さん)

「法科大学院に進むまでの大学生活は反省すべきことが多かった私です。そんな私でも、努力すればこうして合格できる。メンタル面を自分でコントロールして頑張れば、過去は関係ないんです」(瓦林さん)

「司法試験なんか最初から無理とあきらめず、もつと身近なものと考えて、ぜひトライしてほしいですね」(山口さん)

今後も皆さんは弁護士を目指してさらなる勉強が続きます。瓜生さんは医療や企業における労使問題に強い弁護士を、瓦林さんは医療分野で役に立つ弁護士であるいは起業家や経営コンサルタントともに活躍できる弁護士を、山口さんは破産・企業再建問題に強く経営者の味方になれる弁護士を目指そうです。

福岡大学法科大学院から法曹への道



④(左から)瓜生さん、山口さん、瓦林さん

毎年9月に合格発表が行われる新司法試験。平成20年は、福岡大学法科大学院から受験者33人中10人が合格(全員未修者)しました。今回は、その中から3人に集まっていた瓜生さん、山口さんと山口さんは本学卒業後に社会人を経験してから、本学法科大学院へ。そして瓦林さんは西南学院大学卒業後「西南の法科大学院より社会人出身者が多く、年齢的にもこちらの方が合う」と思い「本学法科大学院へ。本学法科大学院で学んだことをどのように感じているのか、皆さんにお尋ねします。」

「私は法律をほとんど勉強していなかった。毎年9月に合格発表が行われる新司法試験。平成20年は、福岡大学法科大学院から受験者33人中10人が合格(全員未修者)しました。今回は、その中から3人に集まっていた瓜生さん、山口さんと山口さんは本学卒業後に社会人を経験してから、本学法科大学院へ。そして瓦林さんは西南学院大学卒業後「西南の法科大学院より社会人出身者が多く、年齢的にもこちらの方が合う」と思い「本学法科大学院へ。本学法科大学院で学んだことをどのように感じているのか、皆さんにお尋ねします。」

司法試験合格に向けて 集中できる恵まれた環境



「教授と院生の距離が近く、連携して勉強の効果を高めていこうという雰囲気があります。設備面の改善なども、院生の意見を聞くための目安箱を通してよく配慮していただきました」(瓦林さん)

「私も目安箱を活用しました。社会人を経験しているだけに1年目は随分と生真面目なことも書きました(笑)。それでも適切

就職・進路支援レポート

3

学部を問わずトライできる!!

福岡大学での「次なる学ぶ道」

徹底した少人数教育で実力のある法曹を育てる

福岡大学法科大学院

平成20年
新司法試験合格者に聞く

瓜生 修一さん(本学経済学部卒)
瓦林 道広さん(西南学院大学法学部卒)
山口 純平さん(本学法学部卒)

定員削減でさらなる 教育力の向上を



福岡大学
法科大学院長
山下 義昭
Yoshiaki Yamashita

福岡大学法科大学院は、これまで少人数制によるきめ細かな教育を実践してきましたが、平成21年度からは定員を現在の50人から30人に削減し、さらなる教育力の向上を目指します。それに伴いカリキュラムも改正し、これまでは修了時点で高いハードルを設けていたが、進級認定をより厳しく行う方向へと切り替えます。もちろん多くの合格者を出せるよう最大限の努力を払いますが、単に司法試験合格を目的とするのではなく、力のある法曹を育てるためにどのような教育をすべきかを追求し実践していきたいと考えています。

専任の教授陣に加えて、司法試験に合格したOB・OGの皆さんが後輩の指導にあたるのも本大学の良い伝統になりつつあります。しかし、それに甘んじることなく、常に院生の声を聞いて迅速かつ適切に院生のニーズに対応できる体制を維持していきたいですね。

今まで法律を学んでいない他学部、他大学、そして社会人の方まで、本大学の受験資格に制限はありません。人生を懸けて、それにふさわしい努力をしている人たちが何としても司法試験に合格させたい。そして1人でも多く、実社会で活躍できる、力のある法曹を送り出したいのです。



日本赤十字九州国際看護大学と香蘭女子短期大学の学生が研究成果を発表

文部科学省 平成20年度「戦略的大学連携支援事業」に採択！ シンポジウム「紙おむつリサイクルのこれから」を開催

三大学長による調印式を挙げる

福岡大学は、日本赤十字九州国際看護大学、香蘭女子短期大学と連携して、それぞれの得意分野を生かしながら、社会が直面する高齢化問題、地球温暖化問題に取り組み、いくことにしました。連携推進のために「紙おむつリサイクルから始める環境保全と明るく快適なシルバーライフの提案」というテーマを設定して、さまざまな活動を行っています。

この三大学による連携は、文部科学省が実施する平成20年度「戦略的大学連携支援事業」に採択され、これによって三大学を中心に、産・官・民を巻き込んだ大きな動きへとつながっていきます。

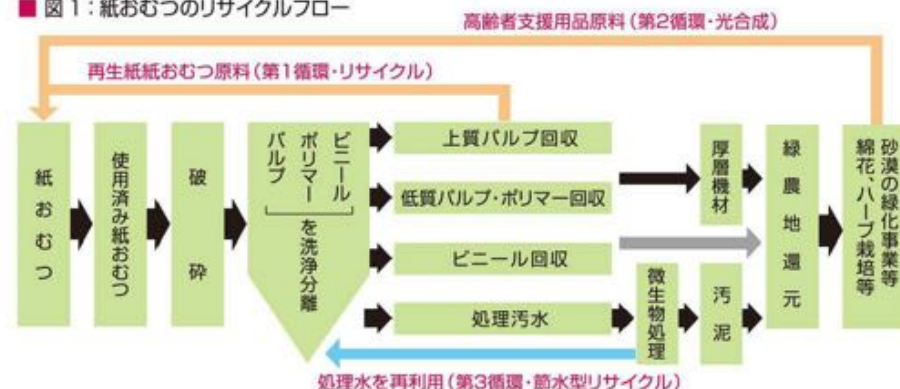
昨年10月18日（土）には、本学60周年記念館ヘリオスホールで三大学長による調印式を行い、本学・香蘭女子短期大学・日本赤十字九州国際看護大学・喜多悦子学長、香蘭女子短期大学・坂根康秀学長が固い握手を交わしました。



調印を済ませ、三学長ががっちり握手



図1：紙おむつのリサイクルフロー



講演する松藤教授

紙おむつリサイクルを真剣に考えよう

調印後、連携事業の第一弾となるシンポジウムのトップを飾ったのは取組担当責任者・松藤康司本学工学部教授による基調講演「紙おむつリサイクルと環境保全について」。

松藤教授は10年前から焼却するだけでなく使用済み紙おむつをいかにリサイクルするかの研究を重ね、図1にあるような「使用済み紙おむつリサイクルシステム」を開発。さらに、実証実験や実際のリサイクル工場での稼働を通して、使用済み紙おむつから資源化物の回収と再利用が可能であることも立証しました。

しかし、資源のリサイクル過程で環境に負担をかけるようでは意味がありません。そこで、松藤教授は現在行われている使用済み紙おむつの焼却と提唱するリサイクルを比較し、処理方法における二酸化炭素の排出量の違いで環境負荷を検討しました。その結果、リサイクルで生じる二酸化炭素の排出量は焼却の場合の約6分の1ということが分かりました。

また、大人用紙おむつを3年間使用した場合、1人1日5枚の紙おむつを使用し、計算すると、パルプ274キログラムになり、それを立木に換算すると5.5本に相当するとのこと。「学生の皆さんも自分が紙おむつのお世話になるのはまだ先のことなどと考えず、今のうちからリサイクルを重要な問題として取り組んでいくことが大事」と松藤教授は訴えます。

松藤教授に続いて、香蘭女子短期大学の学生が「人と環境に配慮したファッション

学生代表として進行を取り仕切った 古賀 崇 さん（工学部社会デザイン工学科4年次生）



松藤教授の研究室で、普段は発展途上の水質改善について研究しています。こうして特徴のある三大学が連携して、一つの研究にそれぞれの長所を生かしたり補い合ったりすることは、とても良いことだと思います。

紙おむつについては、自分たちにはまだ先の世界というイメージがあったのですが、今日の話を聞いて決して他人事ではないと感じました。こういう研究が進んでいけば、いずれ私たちが紙おむつのお世話になる頃には、環境に配慮したデザイン性の高いものが実用化され普及していると思います。

戦略的大学連携支援事業「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」に福岡大学も参画

口腔医学とは、全身疾患・全身の健康との関連を重視した口腔疾患の予防・治療・ケアを対象とする学問です。

これからの社会が必要とする歯科医師は全身の健康維持について医師と同等な知識と理解を持ち、口腔疾患の予防・治療に対する専門的な能力を持った医療者です。

こうした医療者を育成するために、連携する8大学は協力して「口腔医学カリキュラムの作成と実施」「教職員の相互研修派遣」「教職員に対する教育研修」「海外の教育事情に関する情報収集とその応用」「口腔医学に関する情報の発信」などの事業を行い、医師・歯科医師の資質改善に役立てます。

本連携取組は歯学部や医学部を持つ全国の8大学の専門家が集まり、これからの社会が必要とする医療者を育成するために、適切な教育について議論を深めながら、それぞれの大学の専門教育として実践していくものです。

口腔医学教育を実施することによって、教育の視点を身体パーツに関する専門家による医療から、人に関する専門家による医療へと変え、21世紀社会に求められる医療者を育成します。



第10回 福岡大学技術交流会

産学官連携グランドコンベンション
～地域イノベーションの創出を目指して～



事例報告をするケイレックス・テクノロジー(株)川瀬氏



ポスターセッションと懇親交流会には、約180人が参加



基調講演する青木社長



主催者挨拶する衛藤学長

FD
ホットライン

2008年12月4日(木)

第10回「福岡大学 技術交流会」開催

産学官連携グランドコンベンション

地域イノベーションの創出を目指して、 産学官が連携した取組事例を紹介

昨年12月4日(木)、第10回福岡大学技術交流会「産学官連携グランドコンベンション」を開催しました。参加者約200人。今回のテーマは、「地域イノベーションの創出を目指して」。主催者を代表して衛藤学長は、「新しい産業・企業を生み出す社会的資源が必要となるが、ビジネス創造に必要な人材づくりと技術シーズを提供していく。産学官連携による地域の活性化、地域イノベーションの創出は、重要な社会貢献である」と挨拶しました。

九州経済産業局地域経済部次長井手信一氏の来賓挨拶に続き、「地域から未来を拓く」と題して、浜松市で光(レーザー)を使った制御技術を核に技術支援事業で先進的な取り組みが高く評価されている株式会社スペースクリエイション代表取締役の青木邦章氏がこれからの産学連携の在り方について基調講演。産学マッチング・プレゼンテーションでは、研究シーズから生まれた技術が地域経済振興に発展した半導体、環境修復および医学の三分野の事例が紹介されました。また、企業と本学の産学ポスターセッションを同時開催し、研究シーズ15件と技術ニーズから提案された事例18件を展示しました。

文部科学省「知的クラスター創成事業第Ⅱ期」

半導体実装プラットフォームの研究開発



工学部 電子情報工学科 教授

友景 肇



工学部 電子情報工学科 助教

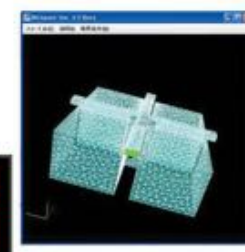
崔 雲

- 半導体分野では、小型化・高集積化する半導体の三次元実装および、半導体デバイスの高付加価値化を実現するMEMSデバイスの短期間での開発などを目的とした研究(文部科学省「知的クラスター創成事業第Ⅱ期」)のプレゼンテーションを、工学部電子情報工学科友景肇研究室の崔雲助教が行いました。
- パソコンや携帯電話をはじめ、自動車等にも広く搭載され、機器や装置の制御をコントロールする半導体デバイス。その実装プラットフォームの研究開発が、
- ① SiP/MEMS設計ツールの開発
 - ② 実装評価技術の確立
 - ③ 応力下でのデバイス特性変動評価

の三分野で進んでいることを紹介しました。

①について

は、ケイレックス・テクノロジー株式会社との共同研究の成果として、三次元実装モデリングCAD「STEERSIP」の開発およびMEMSデバイス設計ツールの開発に結び付けています。



開発したツールの応力解析例



先端LSI実装評価用の基板例

産学連携による環境修復・資源化研究と事業化



大学院工学研究科 資源循環・環境工学専攻 教授

樋口 壮太郎

環境修復分野では、平成9年、文部科学省「学術フロンティア事業」の採択を受け、「福岡大学資源循環・環境制御システム研究所」が北九州エコタウン内に設置されて以降の共同研究事例の発表を、同研究所所長である大学院工学研究科資源環境・環境工学専攻の樋口壮太郎教授が行いました。

- まず、事業化に至ったプロジェクトとして、
- ① 安全な最終処分場の次世代型埋立システムの研究
 - ② 焼却炉を解体した際のダイオキシン等の分解処理についての研究(20数社が参加した「炉解体研究会」による研究)
- など数多くの事例を紹介しました。
- 続いて、日韓国際産学連携により生まれた技術「ウェイストウォッシングシステム」(有限会社ジェーバックが事業化を進行中)をはじめ、環境修復分野における国際連携ビジネスが広く進展していることを報告しました。



大学発ベンチャー、ジェーバックの汚染土壌処理事業



北京の実証施設

超音波遺伝子導入ブースター剤の開発



医学部 医学科 解剖学教室 教授

立花 克郎

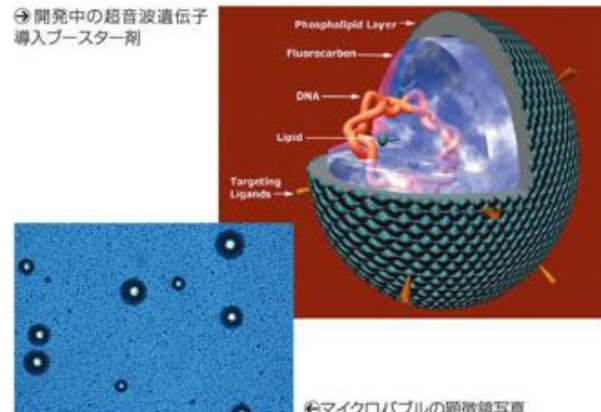
医学分野でのプレゼンテーションは、医学部医学科解剖学教室の立花克郎教授が行いました。

「マイクロバブル(ナノバブル)」がテレビ朝日「報道ステーション」で取り上げられたことを紹介し、この微小なバブルがカ

牛の養殖から医療まで、さまざまな分野で応用されていることを報告しました。

マイクロバブルやナノバブル(100万分の1メートル以下の大きさ)に超音波を照射すると高速のジェット流が発生し、このエネルギーを利用して癌細胞へ遺伝子を導入できることを発表しました。また、臨床応用されている診断用超音波造影剤と低強度の超音波エネルギーの併用により、さらに遺伝子導入効率が高められることも発見され、ますますその可能性(トキワサイエンス有限会社と共同研究する「超音波技術を利用したがん治療」など)に期待が寄せられていることを報告しました。

開発中の超音波遺伝子導入ブースター剤



マイクロバブルの顕微鏡写真

商学部 教授 井上 伊知郎

Ichiro Inoue



井上教授の研究。

教授の研究内容から人となりまでを徹底研究します。

国際通貨の多様化説に一石を投じる

日本の円、アメリカのドル、韓国のウォン、そして欧州諸国のユーロ……世界中の国や地域ではさまざまな通貨が使われています。では、国や地域同士の商取引において、それらの通貨がどのような役割を果たしているのか。それが井上教授の研究の主体である国際通貨論なのです。

「例えば、日本の企業がフランスに物を輸出し、その代金がフランで支払われたとします。日本の企業としては従業員に給料を支払うためにそのフランを円に替えなければなりません。そこで銀行に行きますね。でも、日本の銀行としては「フランがそれほど大きくないフランを持っているのも困るので、フランを必要とする銀行と取引をします。その時にフランは一度ドルに替え、そのドルを円に替えていくわけです。この場合のドルのように媒介となる通貨を『国際通貨』と呼びます。また、日本とインドが貿易を行う際に、直接ドルで取引されることがあります。このように第三国貿易で使われるかどうかは国際通貨の特徴といえますね」

しかし、1971年にアメリカがドルと金の兌換を停止してドルが変動相場制となつてからは、西ドイツのマルクや日本

の円、あるいはスイスフランがドルに代わる役割を果たすといわれてきました。これが『国際通貨の多様化』です。しかし、井上教授は多様化説に対して「本当にそうなのか」と現状分析を試みます。

「戦後しばらくは、ドルとともにイギリスのポンドも大きな役割を果たしていました。世界中にイギリス領を持ち、そこでたくさん貿易を行っていたことを考えるとうなずけますよね。しかし60年代末から70年代にかけて、イギリスの経済力が低下し、結果的にポンドは国際通貨としての力を弱め、それまで貿易でポンドを使っていた国が、次々にドルへと切り替えていきました。ちょうど同じ時期にマルクや円が注目されていたので、一般的には国際通貨の多様化という説が出てきたのですが、結局はドルに統一されていったといえますね。ところが80年代の後半からはヨーロッパの間でマルクがドルに代わる役割を果たし、その力を大きく伸ばしていきました。例えば、フランをポンドに替える時は、フランを一度マルクに替え、そのマルクをポンドに替えるようになりました」

これらは、井上教授が理論を立て、それをしっかりと現状分析によって検証したからこそできるお話。この理論と現状分析こそ井上教授の研究の真骨頂なのです。

理論と現状分析から「国際通貨」を定義する

アジアにおける国際通貨の動きを予言?

井上教授はさらにアジアの動きにも注目します。いわゆるASEAN（アセアン）諸国における国際通貨の在り方です。

「ASEAN諸国の地域内貿易において、現地の通貨がどこまで使われているのか、また日本の円がそこで国際通貨になり得ているのかというのを探りたかったんです。まず訪れたのがシンガポール。アジア各国を渡り歩くにはシンガポールが一番便利がいいんですよ。そこを拠点にして91年から92年にかけてインドネシア、タイ、マレーシアなどに何度も足を運びました。確かに現地の通貨の使用頻度は増えていきましたが、思ったほどの急激な変化はありませんでしたね」

帰国後、井上教授は現地の通貨の使用が増大するとなれば、何がきっかけとなるのか注目しました。そして当時、外国からの資本流入が増えていたアジア圏において経済が過熱していた背景から、アジア諸国の固定為替相場制度はなくなるであろうと予測。やがて訪れたアジア通貨危機をきっかけに、実際にアジア諸国の為替相場制度が崩壊し、現地の通貨の使用が急激に増加していききました。

井上教授のこれらの研究の論文が政策当局の目に留まり、後に大蔵省（現財務省）や日本銀行から招かれて講演をすること



⑤ゼミ旅行（宮崎の鶴戸神社にて）



⑥井上教授がコレクションしたアジアの織物の数々



⑦今回ご紹介した井上教授の国際通貨の研究がまとめられた書籍

⑧井上教授が撮影した写真。被写体にするのは、ほとんどが自然の風景だそうです



写真に収める自然、そして布に宿るアジアの豊かな民俗性。国際通貨のスペシャリストだからこそ、通貨では買えないフリスレスなものに引かれるのかもしれない。

国際通貨を語りだしたら止まらない

ここで紹介した井上教授のお話はかなり要約されています。というのも、インタビューはおおよそ1時間半にも及び、その間、国際通貨に関する基本的なことを実に熱心に話してくださったのです。

「随分長いこと話してしまいましたね。」

もあつたそうです。

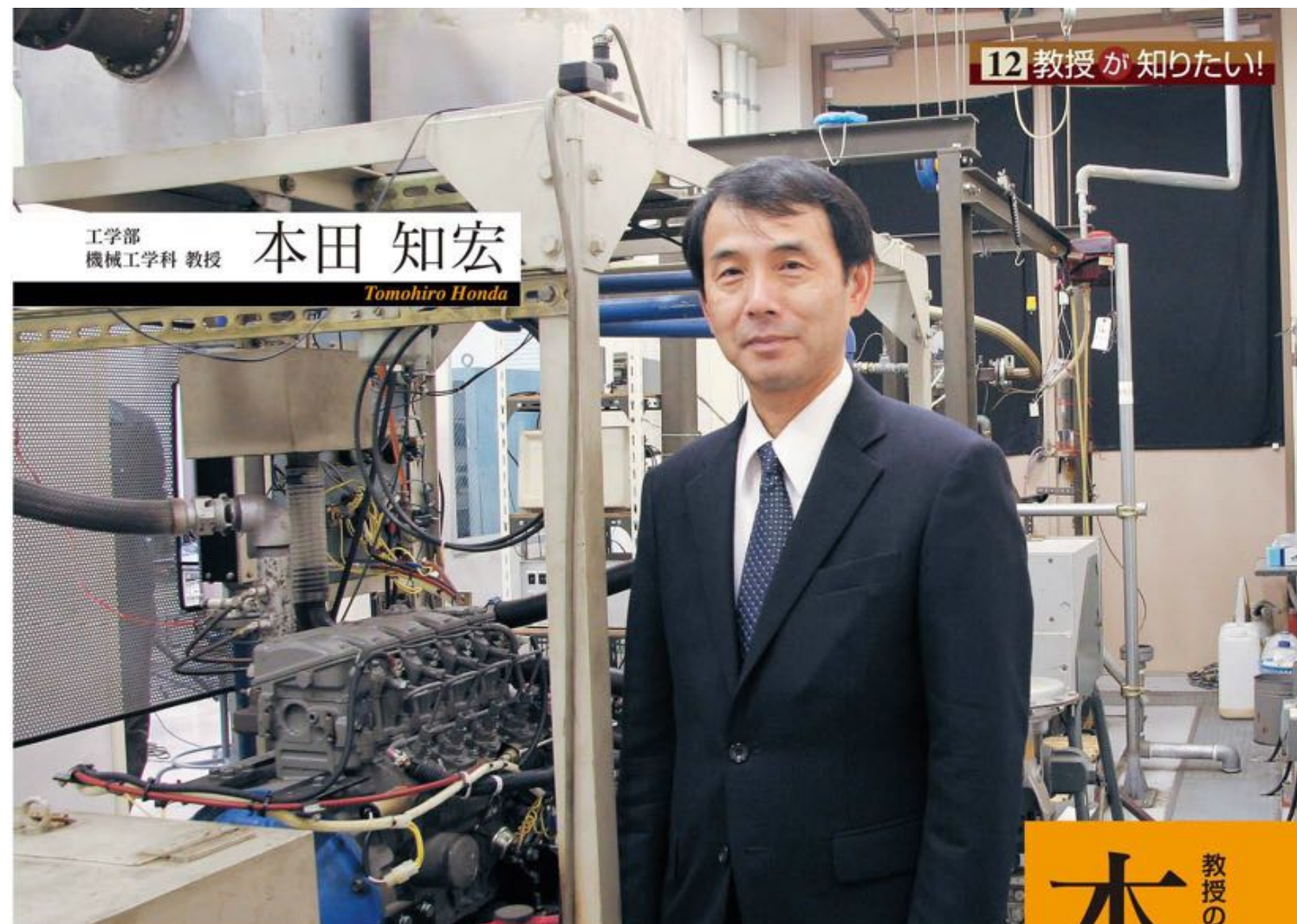
うーん、だまだ尻切れとんだ感なく」とちよびり不満げな様子で、「とにかく国際通貨についてしゃべりだすと止まらないんですよ」と笑う井上教授。

研究以外の話をお聞きしようと、編集部がまず目をつけたのが、研究室に飾ってあるきれいな風景写真の数々。もちろん井上教授自身が撮影されたものです。

「単なるカメラ好きなんです。普段は一眼レフのデジタルカメラを使っていますが、旅行とかに持っていくのはコンパクト

井上教授のとある一日

5:00	起床、新聞を読み、朝食
6:05	家を出て、電車に乗り、新聞を読む。時々居眠り
7:30	研究室に到着、新聞を読む、新聞整理、メールチェック
9:30	講義の準備、講義、研究
12:30	ネットでニュースを見ながら、弁当を食べる
13:00	昼寝
14:00	講義の準備、講義、研究
18:25	研究室を出て、電車に乗り、新聞を読む。時々居眠り
20:10	帰宅、家族と夕食
21:00	残務整理
23:00	風呂に入り、テレビでニュースを見て、就寝

工学部
機械工学科 教授

本田 知宏

Tomohiro Honda

教授の研究内容から人となりまでを徹底研究します。

本田教授の研究。

二酸化炭素で温める地球に優しいヒートポンプ

本田教授の専門は熱工学。地球温暖化が世界的な問題となり、省エネが重要視されている今、エネルギー資源の浪費をいかに抑えられるかが本田教授の研究の柱。

「今、メインで取り組んでいるのは二酸化炭素ヒートポンプです。最近、よく電力会社などのテレビCMで「エコキュート」という言葉を耳にしますが、あれがまさに二酸化炭素ヒートポンプなんです。仕組みはエアコンと同じですが、フロンガスの代わりに二酸化炭素を使って水道水を90℃以上まで温めることができます。低温で霧状の二酸化炭素を外気の熱で温めて蒸発させ、圧縮機でさらに高温にして、タンクの水を温めます。その後、二酸化炭素は膨張弁で膨張して外気の熱で温まるように低温化される。その繰り返しですね。従来の電気温水器が必要とする3分の1以下のエネルギーで水を温めることができます。つまり、電気代も3分の1で済むわけです」

二酸化炭素ヒートポンプが実用化されたのは7年ほど前ですが、ちょうど同じ時期から研究を始め、より効率の良いシステム作りのためにメーカーよりも少しだけ先行しながら高尾幸来准教授とともに二

酸化炭素の伝熱特性の研究を進めているそうです。

「温めた二酸化炭素を圧縮して高温にするのですが、その時にどうしても圧縮機の油が二酸化炭素に混ざってしまいます。今はメーカーとともに混ざった油の量り方、そしてその油がどれだけ二酸化炭素の伝熱に影響するかを研究しているところです。そのうちの幾つかは特許を出願中です」

もともと地球上に存在していた二酸化炭素を使ったヒートポンプは、オゾン層を破壊する心配はもうありませんし、電気温水器に比べると二酸化炭素の排出も減る、まさに地球に優しいシステムです。

「私としてはエコというより、あえて省エネという言葉を使いたくないと思っています。私が学生のころ、オイルショックで今にも石油が無くなるといわれていました。今でも石油は無くなっていませんが、いずれ無くなることは確実です。でも、最近はそのよりも地球温暖化対策でいかに二酸化炭素の排出を抑えるかが議論されています。それも正しいのですが、その根幹にあるのはやはり省エネだと思います。だから、今こそ省エネの原点に立ち返りたいですね」

今こそ「省エネ」という原点に立ち返りたい

福大生は自動車が好き?

本田教授がリーダーを務める熱工学実験室には、可視化エンジンというエンジン内の燃焼状態を写真で見ることが出来る装置もあります。

「エンジンに関してはメーカーではなかなか手の回らない基礎的な分野で貢献したいと考えて、この装置を使った研究を続けています。それに、福岡大学の機械工学科の学生は昔からエンジン好きが非常に多いんですよ(笑)。自分でバイクのエンジンを分解しては、また組み立てるといふような学生がたくさんいます。たね」といふ本田教授。

エンジンに関する事で何か新しい試みはないかということに始められたのが、天然ガスを処理して軽油のような性質を持った液体にする研究です。実際に軽油、天ぷら油から作られたバイオディーゼル、そして天然ガスをディーゼルエンジンに利用できるようにしたGTL軽油の3種類の油を見せていただきました。GTL軽油は無色透



左からGTL軽油、普通の軽油、バイオディーゼル

明でにおいもありません。『ディーゼルエンジンは排ガスの問題が指摘されていますが、上手に使用えばガソリンエンジンよりも効率がいいんです。つまり同じ化石燃料という資源エネルギーを使うなら、より燃費の良い方を使った方がいいということ、ディーゼルエンジンの研究は続いています。高校生に聞いたことがあるのですが、『機械工学』でイメージするのはやはり自動車とかロボット。残念ながら(本田教授の専門である)エアコンなんか機械とも思っていないから(笑)。でも、自動車やロボットほど目立たなくても地球には貢献できる研究なのです」



教授と学生の正面にあるのが二酸化炭素ヒートポンプ実験装置



本田教授がコツコツと組み立てた飛行機



年に3回は研究室で手作り鍋会

本田教授は本学の総合情報処理センター長でもあります。趣味を尋ねると「会議などが多くてなかなか自分の時間が作れません。だから趣味らしい趣味もないですね。まあ、空いた時間に本を読むくらいですかね」との返事。それでもよく聞いてみると高校生の頃からずっとフジックギターをやっていることが判明。普段、大学に自分のギターは置いていないそうですが「いつかは学生の前で演奏してみたい」とのこと。さらに昔から模型作りも大好きで、研究室には本田教授が自分で組み立てたライト兄弟の木製飛行機モデルがあります。

また、学生とのコミュニケーションも大

事にしていて、年に3回は必ず研究室のみんなで宴会を開くとのこと。

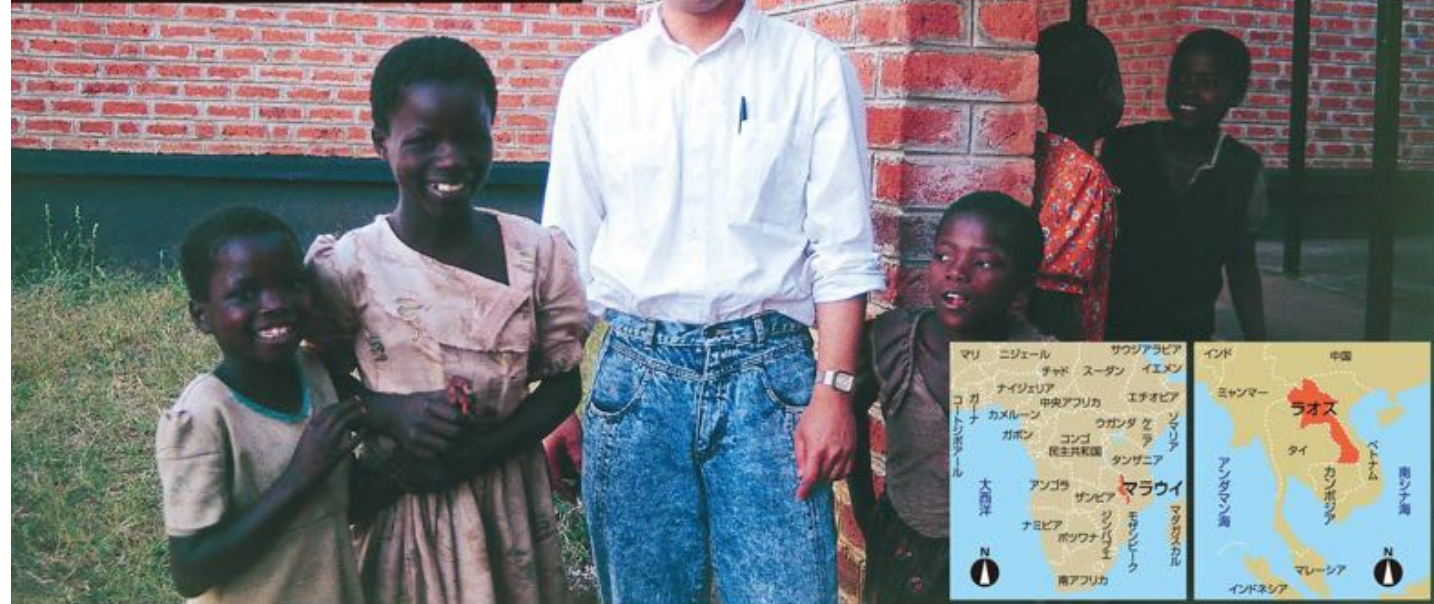
「3回というのは、オープンキャンパス、忘年会、卒業式です。宴会といっても食材を買ってみんなで調理するささやかな鍋会ですけどね」

本田教授から見た福大生の印象は「素直で純朴」だそうです。「企業の方々、本学卒業生が成果を出すまで温かく見守ってくれていると感じています。もちろん卒業生たちが成果を出しているからこそ、(企業から)本学科に直接採用のお声を掛けてもらえる。そういう信頼感があると思いますね」

これからも地球に優しい研究でたくさんの方々のサポートを送り出してくれることでしょう。

本田教授のとある一日

7:00	起床
8:20	1時間2本しかないバスに乗って出勤 メールやスケジュールの確認
9:00	工業熱力学の講義
11:00	情報システムの打ち合わせ
12:15	昼食は研究室で
13:00	エンジンに関する卒論ゼミ
15:00	会議(大学院)
17:00	情報セキュリティの打ち合わせ
18:00	研究資料整理
20:20	帰宅後、夕食



東京大学大学院 医学系研究科
国際保健計画学教室 准教授

黒岩 宙司

Chushi Kuroiwa

福岡大学医学部
1985年 卒業

子どもたちがあまりにも簡単に死んでいくという現実

【本】 当はジャーナリストや作家にあらがれていましたよ」

黒岩氏から最初に聞いた言葉はちよと意外な一言でした。佐賀で医師の息子として生まれたことから「何となく雰囲気医学部に入りました」という黒岩氏。

「ちょうど手塚治虫の『ブラックジャック』がはやっていたころで、まず医者になつてからでも(本は)書けると思ひましてね。小児科を選んだのは、人の全身を診ることが出来るからです」

研修医を経て大分県別府市の病院で勤務していたころ、自分自身が学生時代からアフリカの医療に興味を持っていたことを思い出したと言います。

「興味を持っただけじゃ三つありました。一つは74年に始まった予防接種、次に79年に中国で施行された一人っ子政策。予防接種が人の命を救う一方で、世界レベルで人口過多が問題視されることの矛盾に学生時代から疑問がありました。そして81年から大きくなったエイズ問題。それらがすべてアフリカにつながっていて、医学部生

時代からアフリカに関するコースをたくさん見ていたんですね。そんな学生時代の思いがふとよみがえり、実際にアフリカの現状を見たいなと思って青年海外協力隊に参加しました。現地で臨床活動するに、当時それくらいしか方法がなかったんです」

黒岩氏にアフリカ行きを決断させたのは「学生時代の純粋な思い」だったのです。しかし、アフリカの最貧国といわれるマラウイで黒岩氏が目の当たりにしたものは信じ難い光景でした。

「それは、一言で言えば『本当によく死ぬな』と。それまで統計すらなかったの自分で統計を取ってみたのですが、月に100人、つまり1日3〜4人の子どもの目の前で死んでいくんです。あまりにも簡単に死んでいく現実が最初は理解できなかったですね。病棟では栄養失調で半分以上の人が死んでいくし、10人に1人はしかをかをこらして死んでいく子もいる。そういう現実を見て、初めて予防接種の重要性を認識したといってもいいでしょう」

医師という仕事を選んだからこそ、かなった「夢」

【黒】 岩氏はアフリカ、ラオスでのさまざまな体験や思いを一冊の本にまとめた。それが昨年出版された『小児科医、海を渡る』です。

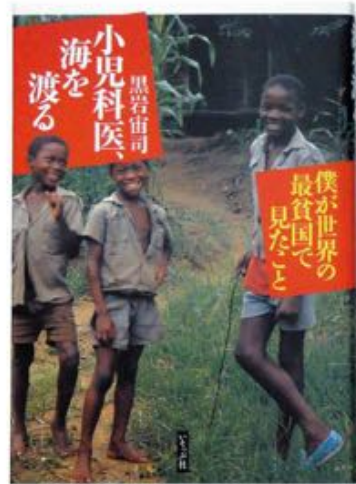
「きっかけは朝日新聞に掲載した論調です。英語で論文を書けば業績は上がりますが、それでは誰も読んでもくれない。もとも国際協力活動は税金を使っているわけですから、それを日本の国民に還元するには日本語で書くべきだろうと思って、新聞には何度か書かせてもらいました。それを見た雑誌社の方から、本を書きませんか」と声を掛けていたのだ。新聞ではなかなか高校生に読んでもらえないので、ありがたいお話だと思いました」

もともとジャーナリストや作家志望であった黒岩氏の「夢」は、医師として海を渡ることで実現したのです。

「ものを書きたいと思ったのは20歳くらいでしたが、その当時は決して書くことができなかったことが書けました。まさに医師としての経験があるからこそ書けた本です」

黒岩氏は、この本を若い人にぜひ読んでほしいと言います。

「若いうちに世界のことをもっと知ってほしいのです。『世界にはかわいそうな人がいるから何とかしてあげよう』というだけでなく、なぜそういう現実が起こっている



昨年7月に出版された黒岩氏の著書『小児科医、海を渡る』(いそづ社・1,680円)には、アフリカの悲惨な現状や国際援助の現実などがレポートされています

【ア】 フリカで活動をする中で、黒岩氏はそのような環境をつくり出す背景に注目するようになります。

「きれいな水や食糧があれば死んでいく子どもの半分は救えるはずなのに、現実としてそれができない。結局は世の中の国際的な仕組みがそのようになってしまうというわけです。アフリカのほとんどは農業国なのですが、今の貿易システムは欧米に有利に働いていて、自国の農業を補助金を出して救い、余った農作物をアフリカにダンピングしている。結果的に発展途上国は輸入に頼らざるを得ない。そういう仕組み自体から変えていかないとだめなんです。私たちが現地でも、どんなにベストを尽くしても救えるものには限りがあるんですよ」

黒岩氏はアフリカでの経験を生き、その後訪れるラオスでは国際保健計画の専門家として、またチームリーダーとして活動します。ラオスで黒岩氏が見たものは環境破壊。貧困削減を口実にした先進国の支援のもとに、ラオスでは外貨獲得を目

医学専門誌「THE LANCET」に掲載された論文が東京大学大学院に赴任するきっかけとなった

Profile

1985年福岡大学医学部を卒業後、九州大学病院小児科研修医を経て、別府の国立病院に勤務。青年海外協力隊に参加し、アフリカのマラウイで小児科医として活動。その後、WHOやユニセフと協力してラオスでポリオ根絶事業に参加。2002年から現職。

アフリカ行きを決断させた学生時代の純粋な思い

「ラオスの現状を見て『なぜ』という疑問が次々にわいてきました。その疑問の対象が、最初は現場であったものが、行政になり、国になり、世界の仕組みになっていく。問題の根源に気がついた私たちがメッセージを発信することで、若い人たちに少しでも現状を知ってもらいたい。若いうちからそれに気付けてくれれば、問題に取り組むアクションはもっともっと早くなる。世界レベルで二酸化炭素の排出が問題になっているのであれば、例えばラオスのような美しい自然が残る国や自然を守ってきれいな空気を出している国には援助をするということも考えていいと思います」

● イベント スケジュール

- 1月** 冬季休業終了(5日)
後期授業再開(6日)
後期授業終了(10日)
後期定期試験(13日～26日)
大学入試センター試験(17日・18日)
- 2月** 学部留学生入試(2日)
一般入試(前期日程)
(本学・地方4日～9日、11日・12日)
成績発表(4年次生以上 ほか)
(14日～18日)
医師国家試験(14日～16日)
大学院春季入試(15日～20日)
海外研修生派遣(米国・豪州)
(18日～3月18日)
一次学士合格発表(20日)
一般入試(前期日程)、
センタープラス型入試、
大学入試センター試験利用入試
合格発表(21日)
学部留学生入試合格発表(21日)
交換留学生派遣
(中国・中国(台湾)・韓国)
海外春期中国語研修生派遣(中国)
(22日～3月8日)
追・再試験(26日～3月3日)
- 3月** 修士・博士学位合格発表(4日)
社会人入試(後期日程)、
編・転・学士入試(後期日程)(4日)
一般入試(後期日程、
スポーツ科学部特別募集)(5日)
大学院春季入試合格発表(6日)
薬剤師国家試験(7日・8日)
二次学士合格発表(12日)
一般入試(後期日程、
スポーツ科学部特別募集)、
社会人入試(後期日程)、
編・転・学士入試(後期日程)
合格発表(13日)
学部卒業式・大学院学位記
(修士号)授与式(19日)
商学部第二部卒業レセプション
(19日)
大学院学位記(博士号)授与式
(21日)
在学生成績発表・履修登録
(中旬～下旬)
医師国家試験合格発表(27日)
- 4月** 入学式(2日)
薬剤師国家試験合格発表(3日)
前期授業開始(10日)



就職活動に役立てよう!

学生と北城氏との質疑応答

講演の後、学生からの積極的な質問一つ一つに、
実に丁寧に分かりやすく答えていただきました。

(あ) 明るく
(た) 楽しく
(ま) 前向きに

Q: 22歳の私にアドバイスをお願いします。

A: 「一芸に秀でよ」ということですね。どんな仕事でも、どんな組織においても「これだけは人に負けない」という分野を作ること。一つそれがあれば次の分野もまた開けてきます。私が仕事をする上で大切にしているのは「明るく、楽しく、前向きに」。最初の文字を並べれば「あ・た・ま」です。常にこの「あ・た・ま」を大切にしてください。

Q: 女性の社会進出について企業はどのように考えているのでしょうか?

A: 企業というものは、意欲のある人は男女関係なく期待しています。例えば、車を購入するとき、最終決定権を持っているのは奥さんであることが多いです。そう考えると、車メーカーにとって女性の視点はとても大事ですね。会社の戦略として女性を採用する企業もあります。ただ、働いている女性の中には「あまり責任のない今の仕事が楽だからそれを続けたい」という人もいます。それではダメ。性別に関係なく、チャンスがきたら挑戦すべきです。

Q: 経営者としての一番難しい決断は何でしょうか? また孤独やプレッシャーに打ち勝つには、どうすればいいのでしょうか?

A: 会社のトップとしては事業の撤退が一番難しいですね。IBMはある時期、コンピューターの販売からソフト・サービスへと大きく方向転換をしました。当時、7割がコンピューター販売だったのですが、転換後は8割がソフト・サービスになりました。撤退すると、そこで頑張ってきた人材のキャリアに大きな影響を与えます。それでも決断すべきときはやらねばならないのです。プレッシャーに勝つ方法は、私の場合は「この程度の決断で地球が破滅するわけじゃない」と前向きに考えることですね。

Q: 世の中の仕事はリーダーだけではなく、リーダーの下で働く人がいて成り立つもの。リーダーをサポートする人間を目指すのは間違いないでしょうか?

A: 大きな組織のリーダーがいれば、2、3人の小さな組織のリーダーもいる。リーダーになるとか、そのサポートになるとかではなく、常に「もっと変えることはないか」という気持ちでいてください。現状に満足せず、常に「このままでいいか」と考える人間であるべきです。私も一社員の頃から上司、役員に食って掛かったし、社長にも「もっとこうしましょう、すべきです」と直訴していました。情熱を持っていればおのずとリーダーへとなっていくものです。

Q: 企業が新卒を採るのに年齢の目安はありますか? 留学や大学院を経て就職するのは不利ですか?

A: 理由があれば、年齢はあまり関係ありません。留学なり大学院なりの1～3年の間に何をやっていたか、それを自信を持って説明できることの方が大事です。

Q: コミュニケーション能力を高めるには具体的に何をすればよいのですか?

A: 話をしているときに相手に理解をさせること。そのためにはまず、相手の立場を理解することが大事です。相手が納得、共感して初めてコミュニケーションが成立します。面接などでたくさんの人の前で話すときは、話しながら10秒ずつ相手を見ることが。それから何より人間的な魅力、人間性を高めることが大事です。そのために勉強する時間がたっぷりある今のうちにぜひ教養を身に付けてください。

第6回 今を生きる教養講演会に参加して

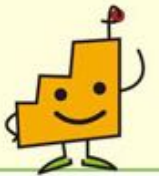
池田 健太郎 さん(薬学部4年次生)

すでに製薬会社に就職が決まっているのですが、「これほどの経歴を持った経営者のお話を直接聴ける機会はなかなかないだろうし、社会人になるためのモチベーションを高められたい」と思って参加しました。一社員から企業のトップに上り詰めた方のお話ですから、やはりとても感じ入るものがありました。今日のお話を参考にして、社会に出てからも明るく、楽しく、前向きに頑張っていきたいと思います。



Fukuoka University students Step up Program

福大生ステップアッププログラム



演題 「これからの社会で求められる人材」

講師 日本アイ・ピー・エム株式会社 最高顧問
社団法人経済同友会 終身幹事

北城 恪太郎氏

Kakutaro Kitashiro

1967年 3月 慶應義塾大学工学部卒業
1967年 4月 日本アイ・ピー・エム株式会社入社
1972年 6月 カリフォルニア大学大学院 修士課程修了
1993年 1月 日本アイ・ピー・エム株式会社 代表取締役社長
1999年 12月 IBMアジア・パシフィック プレジデント兼
日本アイ・ピー・エム株式会社 代表取締役会長
2003年 3月 日本アイ・ピー・エム株式会社 代表取締役会長
2003年 4月 社団法人経済同友会 代表幹事
2007年 4月 社団法人経済同友会 終身幹事
2007年 5月 日本アイ・ピー・エム株式会社 最高顧問



日本経済の課題と
国際競争力
日本が国として抱える借金と人口減少
の問題、日本はいずれ中国やインドに
GDPで追い越されるという危機感につい
て分かりやすく解説してくださいました。
「中国やインドは人口が多いから、優秀な
人や努力家も相対的にたくさんいるわけ

です。しかも少し前までは決して豊かな国
ではなかったため「より豊かな暮らしを求
める気持ち」がとても強いのです。日本は、
これから先、仕事の質を維持していくだけ
ではなく、中国やインドができないような
新しいことに挑戦していく必要があります」

日本が持続的に
成長していくために

ここでは「イノベーションによる国際競争力の強化」と「世界の平和・安全と、繁栄に向けた貢献」という二つの内容についてお話しされました。
「イノベーションとは革新という意味ですが、企業が持続的に発展するためには、技術面だけでなく新しい考え方、新しい価値づくりが必要で、もともと日本人は匠の技やチームワークなど、コツコツと努力を積み重ねることが得意でした。それをもっと必要ですが、それだけではなく、斬新なアイデアに挑戦するイノベーションを加えていかなければ国際競争力を高めしていくことはできないのです」

これからの社会で
求められる人材

そして最後は就職活動中の学生が何よりも興味を持つお話。
「今、社会で求められているものは国際社会で通用する豊かな教養です。倫理、哲学、歴史を踏まえた上で「人として何が正しいか」が判断できること。海外で働く場合は、日本の歴史や文化について、特に戦前から戦後にかけての歴史をしっかりと知識として持っていることが大事です。皆さんは学生時代の今が一番時間を使えるわけですから、今のうちにぜひ多くの教養を身に付けてください。それから、協調性も求められる大きな能力の一つ。それは、大きな組織の中で自分が成し遂げたいことを人に共感させる「コミュニケーション能力」ともいえます」



どこにも負けたくないという気持ちで
がむしやりに頑張っています。

OG・OB
メッセージ

My チャレンジ!



大学まで続けているということは
その競技が大好きなはず。
最後まで思い切りやってください。

2006年 スポーツ学部 スポーツ科学科卒業

上本 茂基 さん

● コカ・コーラウエスト株式会社 勤務
(コカ・コーラウエスト レッドスパークス 所属)

カ
バンの中身を拝見



練習用ジャージ
上本さんにとっては「も
う一つの制服」です。

練習用ボール
レッドスパークス
のロゴ入り。
かなり使い
込まれて
います。



レッドスパークス
は特に本学ラグビー
部出身者が多く、現
在のコーチの高井さ
んは上本さんが在学
中に本学ラグビー部
でコーチをされてい
たそうです。

「結局、私が入る前年にトップリーグ入
りを果たしたのでトップリーグしか経験し
ていませんが、一度下位のリーグに落ちる
と這い上がるのが非常に厳しいので、試合
も練習も常に緊張感があります。どこに
も負けたくないという気持ちで、がむし
やりに頑張っています」

トップリーグの試合で活躍する上本さん



「一般家庭といってもユージーランドは
家族みんなが熱心なラグビーファン。夕食
時でも「今日はどんな練習だった?」とい
う話題でいっぱい。おかげでラグビーに對
する思いが、ますます高まりました」

入社後はラグビーの強
豪国であるユージーランドへの留学を体
験。一般家庭にホームステイしながら地
元チームでラグビー漬けの毎日を送ったと
のこと。

「練習が午後3時から
なので、朝7時から昼の
1時まで仕事に汗を流し
ています。夏場は商品も
よく売れるので、補充す
る量も増えて特にハード
ですね」

トップリーグはあくまでも実業団チーム
のためほとんどの選手はコカ・コーラウ
エストの社員として通常、仕事をしています。
上本さんが担当するのは自動販売機
の補充業務で、博多駅か
ら福岡空港近辺のエリア
を担当しています。

朝7時から昼の1時まで
社員としての通常業務

家族の影響で教職を
目指そうと思ったことも

上本さん宅は、母と姉が教師という教
師一家。しかも、お二人とも福岡大学の
OGというから驚き。
「学生時代に母はバレー部、姉はバスケット
部に所属して、卒業後は二人とも教師
になりました。そのような環境だったので、
一時期は私も教師になつてラグビーを教え
たいという気持ちもありました。母からは
当時、「高校の先生を目指したら」と何度
も勧められましたが、今ではその母が全国
どこへでも(トップリーグの)試合を見に
来てくれます。本当に熱心に応援してく
れるので感謝しています」
これからもご家族やファンの人たちのパ
ックアップを受けながら、福岡大学OBの
代表としてトップリーグの頂点を目指して
ほしいですね。

在学生の皆さんへのメッセージ

現在の福岡大学ラグビー部員は人工芝の素
晴らしいグラウンドで練習できるので、とても
うらやましいです。まさにトップリーグ級の
恵まれた環境の下で練習できることに感謝しな
がら頑張ってください。今、体育系のクラブで
頑張っている後輩の皆さんは、その競技が好き
だからそそくまで続けているのだと思います。
きつことがあっても「好きだから」という気
持ちは忘れずに、どんな相手にも負けたくない
という気持ちで最後まで思い切りやってみて
ください。将来、プレーする立場あるいは教える立
場になったとしても、好きな競技にかかわり続
けることはとても幸せなことだと思います。
在学生の皆さん頑張ってください。

本年度は九州リーグで優勝

福大アメフト部のチーム名は「ブラック
ナイツ」。九州の学生フットボールの創成
期から活動を経て、昨年創部35年目を迎
えた歴史あるチームです。主な試合は九
州の6大学(一部リーグ)によるリーグ戦。
昨年度は5位と低迷しましたが、本年度
は見事に優勝しました。

アメリカンフットボールといえば、激し
いぶつかり合いばかりがイメージされがち
ですが、1プレーごとに緻密な作戦が必要
とするスポーツでもあります。そのため、
チーム内の意思疎通がとて大切なのです。
「今年はミーティングにかなり時間をかけ
ました。例年は夏合宿だけですが、今年は
リーグ戦の前にも合宿を行い、それでもミ
ーティングを繰り返しました。そのおかげで
本番の試合でもそれぞれの動きに食い違
いが出ることもなく、いい結果を出せまし
た」と語るのは主将の井上彰士郎さん(法
学部4年次生)。



若さと勢いで、目標は九州リーグ連覇!!



※激しい練習を繰り返して
九州リーグ連覇を狙う

武器はどこにも負けないスピード
井上主将は「うちは他の大学と比べると
決して体格がいい方ではないので、その分
スピードを武器にラン攻撃を中心に組み
立てています」とのこと。
ただ、日本ではまだメジャーとはいえな
いスポーツだけに、部員の勧誘もかなり苦
労しているのだとか。実際に、現在の部員
全員が大学からアメフトを始めた初心者
ばかり。井上主将も高校まではサッカーで
ゴールキーパーをやっていたそうです。
「ボールを捕るのは得意でしたから(笑)。
足が速いとか、肩が強いとか、押し合いだ
けは負けないとか、ポジションごとに個性
を生かせるのがアメフトの魅力だと思いま
す」
優勝を勝ち取った本年度のメンバーは2
年次生が中心で「若さと勢いがあるチーム
だ」というブラックナイツ。昨年度味わった
屈辱をバネに、試合に勝つことで力を増し、
それがまたモチベーションになるという好
循環を生み出しているようです。5月から、
また試合が始まるので、その迫力とスピ
ードをぜひ自分の目で確かめてみてください。

福大の元気なサークルを紹介します。



名前がつながるOBとの絆

通称「落研」と呼ばれる落語研究部。主
な発表の場は、年間5回学内外で行われる
寄席。その中で最大行事は、5月に学外で
実施する「福大五月寄席」で、毎年多くの
お客さんを笑いの渦に巻き込んでいます。
OBには昨年4月に真打ちとなったフ
口の落語家・立川生志さん(86年卒業)も
いますが、幹事の小林智信さん(法学部3
年次生)は「落語が好きで入るというより
雰囲気引かれて入る人がほとんど。社
交的な部員ばかりで、みんな笑いを追求し
ていますね」と語ります。

落語研究部には、3年次生が新入部員の
師匠となり落語だけでなく大学生活全般
の面倒を見るという独自の師弟制度があ
ります。また卒業する先輩の名前を弟子
が代々受け継ぐという襲名制度もあります。
「私は十七代目の『金坊』ですが、初代『金
坊』はすでに50歳を超えた方です。一つの
名前ですらうた方々との絆が感じられる
のはすごいことだと思います」と小林さん。



カンザス大学から来た交換留学生も在籍中!

カンザス支部が誕生か?

昨年の9月から落語研究部に新しい仲
間が加わりました。彼の名前はブライス・
クラークさん(専門は東アジア研究)。カ
ンザス大学から来た交換留学生で、源氏物
語や鶴姫日記の面白さが分かる米国人です。
「日本の文化や歴史が大好きで、アメリ
カにいる時から落語を覚えていました。福
岡大学に来てどうして落語を学びたい
かと思いましたが」というクラークさんですが、
実は落語研究部には「交換留学生は基本
として受け入れない」というルールがあっ
たそうです。

「以前、受け入れたこともあったようす
が、やはり本人が続かないんです。でも、
クラークの落語を学びたいという熱意が
強かったので、部員と相談して受け入れる
ことにしました」と小林さん。クラークさ
んには「福々亭新丸」という名前も付いて、
七瀬祭で見事にデビューを飾りました。
「今年の7月にアメリカに帰りますが、
それまでしっかりと勉強して、できればカン
ザス大学に『落研』を作りたいですね」と
クラークさん。将来的には、福大落研カン
ザス支部も夢ではないかも。



※福々亭新丸こと
ブライス・クラークさん

【第6回】寄付者ご芳名一覧

福岡大学創立75周年記念事業募金の趣旨にご賛同いただいた皆さまから、任意のご寄付にもかかわらず、多大なるご協力が寄せられております。ここに深く感謝いたしております。ここに、ご寄付をいただきました方々のご芳名を左記要領のとおり掲載させていただきます。なお、本募金は平成22年3月末まで実施いたしておりますので、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

■寄付者ご芳名掲載要領

一、本号では、平成20年9月17日から12月10日までの寄付者のご芳名を掲載します（以後、寄付者のご芳名の公表が終了するまで毎号行います）。
二、法人、在学（校）生のご父母（保護者）、卒業生、職員、その他という募集対象区分ごと（寄付金額の多い順、およびご芳名は五十音順）に掲載します。

三、分割での払い込みの方は、平成20年9月17日から12月10日までに「寄付をいただいた金額」と募金期間中の累計金額を（）で掲載します。

※一、本募金活動終了後、最終寄付者名簿（芳名録）を作成し公表する予定です。

※二、（減免措置）について本募金は、原則として、個人・法人を問わず寄付金控除の対象となります。詳しくは、お手元にお送りいたします「募金控除」に記載してありますので、ご確認ください。

■寄付状況

区分	件数	金額(円)
在学(校)生ご父母(保護者)	2,476	47,256,968
卒業生	2,657	98,428,523
法 人	416	214,230,000
職 員	720	67,334,000
そ の 他	30	4,084,353
合 計	6,299	431,333,844

(平成20年12月10日現在)

募金に関するお問い合わせ先

福岡大学 創立75周年記念事業募金事務局
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL 092-871-6631(代) 内線2120~2122
FAX 092-871-6826
E-mail bokin@adm.fukuoka-u.ac.jp

法人(個人事業所を含む)

■五百万円

有限責任中間法人

日本ベインクリニックス学会

■三百万円

株式会社エスアールエル

株式会社バリアン

株式会社システムズ

メデイカルシステムズ

福岡酸素株式会社福岡支社

株式会社ムトウ

株式会社明電舎

岩崎建設株式会社

九州勤業株式会社

株式会社積善社

福岡市医師会

福岡リハビリテーション病院

新日産商事ビルサービス

有 限 公 司

（百八十万円）

医療法人浅倉整形外科

医療法人坂本眼科

三建設工業株式会社

九州支店

シスメックス株式会社

リコー九州株式会社

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

五十万円

■二十万円

医療法人社団邦生会 高山病院

医療法人

中山皮膚科泌尿器科

有限会社アカシ

室町ケミカル株式会社

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

丸八フルーツ

■一十万円

進興設備工業株式会社

株式会社大乾

ナカシマプロペラ株式会社

メデイカル事業部

西日本プラント工業株式会社

医療法人財団博愛会

富士製薬工業株式会社

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

株式会社ヤスナガ

■一十万円

大谷化学工業株式会社

有限会社桑澤機工

有限会社塩川組

株式会社Solid Com

株式会社東武軒

有限会社東武軒

福岡建材株式会社

南福岡ヤクルト販売株式会社

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン

株式会社ラボキヤビン



テーマ 世界の壁に挑み続けて得たもの —走り続けて得た奇跡のメダル—

※この日は世界選手権やオリンピックでのスポーツ実況を経験したNHK内山俊哉アナとの対談形式

大きな転機は「自分を1ランク上げるために渡った」というドイツ。「ドイツに行く」と決めた以上は、成功するま

◎一般参加の小学生の質問に笑顔で答える朝原氏



「北京オリンピック」感動の陸上400mリレー 銅メダリストの朝原氏が講演

昨年11月17日(月)、平成20年度福岡大学特色ある教育「トップアスリート強化・支援のための実践教育プログラム」福岡放送局の内山俊哉アナウンサーとの対談形式で行われ、中学時代にハンドボールの選手として全国大会に出場した話や、高校生から北京五輪までのアスリートとしての半生を熱く語っていただきました。

大きな転機は「自分を1ランク上げるために渡った」というドイツ。「ドイツに行く」と決めた以上は、成功するま

また、本学の陸上競技場でも練習をした経験がある朝原氏は、講演後に福岡大学について語ってくれました。



※(後列左から時計回りに)木内さん、富山さん、比嘉さん、高祖さん



※熱心な指導に小学生も思わず聞き入っていました

別府小学校の体育授業(研究発表会)を 陸上競技部の学生がサポート

小学生に「走り幅跳び」と「走り高跳び」を指導

昨年11月13日(木)、福岡市立別府小学校で行われた公開授業に本学陸上競技部の学生が参加し、体育授業のサポートを行いました。これはスポーツ科学部が行っている「スポーツを通じた地域貢献」の一環で、今回初めて陸上競技部員4人を派遣しました。

5年生の走り幅跳びを指導したのは比嘉浩太郎さんと木内康寛さん、6年生の走り高跳びを指導したのは高祖良輔さんと富山龍太さんで4人ともスポーツ科学部の2年次生。

公開授業が始まる前に「小学生には、技術そのものよりも、中学・高校でも続けてもらえるように競技の楽しさを伝えられれば」と語っていた4人ですが、走り幅跳び組は砂場をならしながら声を掛け、走り高跳び組は実際に跳んで見せるなど大奮闘の45分。今回参加した4人は、将来教職に就くことを目指していて、今後の教育実習につながる有意義な時間を過ごしたようです。

来てみて 話して
こころの整理

ヒューマンディベロップメントセンター (HDセンター：学生相談室)からのご案内

HDセンターでは、春季休業期間中、専門カウンセラーによるセミナーを実施します。



屋宮 公子 カウンセラー
●大学カウンセラー
●臨床心理士
●シニア産業カウンセラー

自己表現講座

アサーショントレーニングを学び、自分らしい表現を一緒に考えます。

◆2月23日(月)、3月2日(月)、3月9日(月)
いずれも12:40~16:00

講師：屋宮 公子 ほか

内容例：①対人関係の3つのパターン
②自分の気持ちを大切に考える考え方と表現方法
③みんなでロールプレイ

ロールプレイを
実践に生かせるところが
よかった!

難しいかなと
思っていたけれど、
楽しかったです



松尾 公孝 カウンセラー
●臨床心理士

青春期を生きるあなたに ～性と心の話 食と心の話～

性とは生きる心です。食とは命をいただくことです。いずれも一生かかわるものです。青春期を生きる学生の皆さんとともに、今とこれからを考えます。

◆3月10日(火)、3月11日(水)、3月17日(火)、
3月18日(水) いずれも13:30~16:00

講師：松尾 公孝

内容例：①見た目編(素と自己演出、育ちについて考える) ②LOVE LOVE編(性の健康、思いやりとやさしさと責任) ③愛憎編(性愛と愛着、家族とは) ④食の話(何を食べるかによって身体がつくられ、どのように食べるかによって心がつくられる)

ホームページ <http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.htm> もご覧ください。

社会で役立つ対人関係スキルセミナー ～SSTへのご招待～

社会で役立つコミュニケーション技能についての体験的学習です。

◆2月26日(木)、3月5日(木)、3月12日(木) いずれも12:40~16:00

講師・ファシリテーター：田田 洋子(人文学部教授)、屋宮 公子

内容例：①よいコミュニケーションのコツ ②相手に耳を傾ける技能ステップ
③自分の気持ちを伝える技能ステップ

なりたい自分探しセミナー

自分の長所や特長を知り、将来の仕事分野や職業についてじっくり考えるセミナーです。

◆3月16日(月)、3月23日(月)、3月30日(月) いずれも12:40~16:00

講師：屋宮 公子 ゲスト：就職・進路支援センター職員

内容例：①色を使って自分を知る ②東大式エゴグラムで自分の特長を知る
③職業興味検査で自分の向いている職業を考える
④カラージュでなりたい自分のイメージをつかむ

個別相談のご案内

相談時間／月・水・金 9:30~16:00
火・木 9:30~18:40

場 所／学生部事務室3階
(1階に学生課のある建物)

相談は無料・予約制です。

●ご家族・教職員の方々からのご相談もお受けしています。
●相談内容の秘密は守られますので、安心してご相談ください。

ご予約・お問い合わせ **092-871-6631** (内線2630)
※お電話は平日の16時30分までにお願ひします。



HDセンターは学生部事務室棟の3階です

BOOK 新刊案内

『企業犯罪の経済学』 ビジネス・エシックスの考え方

企業の不祥事や不正行為が後を絶たない。自分や家族の働く会社が、いつそうした問題で世間の非難を浴びたり、法的な責任を取らされたりすることがあってもおかしくないし、消費者として安全性の不確かな製品を購入したり、経済取引のなかで金銭的な被害を被ったりということもまれではなくなっている。このような状況下で、幸せな経済生活を送るためには、どういった知識や心構えが必要なのか、それを知ってほしいと思って書いた本である。

これから社会に出る学生諸君、ビジネスの現場で働く皆さん、経営者の立場にいる方々、経済に興味を持つ主婦の皆さんなど、広く気軽に手に取っていただき、楽しみながら読んでいただきたいと考えている。

(山崎 好裕／経済学部教授)

山崎 好裕 著
(株)中央経済社 2008年12月刊
定価 2,310円(税込)



『増補・改訂 南北朝期公武関係史の研究』

日本史でいう南北朝期は、未曾有の動乱の時代であった。動乱は同時に変革をもたらす。南北朝期は、その意味で時代の大きな変わり目だといえる。そうした時代のなかで、日本列島の政治・文化の中心は何といっても、首都京都であった。京都には公家の府朝廷と武家の府幕府が共存した。本書は、この両者の政治的・文化的関係を史料に即して具体的に究明する。元版は、南北朝期の複雑な公家政局の構造、さらに同時代の朝廷と室町幕府との間の諸側面での関係を史料を駆使して実証的に読み解いた昭和54年(1979)刊行の著書。この元版にその後の研究成果を新補注として増補し、新たに見いだした基礎データを追加した。この四半世紀の間に、日本中世の公武関係に関する研究は大幅に進んだ。

(森 茂晩／人文学部教授)

森 茂晩 著
(株)思文閣出版 2008年7月刊
定価 9,450円(税込)



バントワリングの世界大会で優勝



金メダルを胸に満面の笑みを浮かべる中村さん



世界の大会で華麗に舞う中村さん

昨年8月5日(火)、6日(水)の両日、アイルランドのリマリックで開催された「第4回 WBTF(世界バントワリング連合) インターナショナルカップ」ソロワール・アダルト部門において、中村麻美さん(経済学部経済学科4年次生)が見事、初優勝を飾りました。

長沢裕美子バトンスタジオに所属する中村さんは、日夜練習を重ね、同大会に第1回から日本代表選手の一人として出場してきました。残念ながら、過去3回は優勝を果たせませんでした。しかし、今回、日々の努力がめでたく実を結び、念願の優勝を果たし、金メダルを手にすることができました。

中村さん、優勝おめでとうございます。



第8回「全国ドイツ語スピーチコンテスト」で優秀賞、チャレンジ賞を受賞

昨年10月25日(土)、第8回「全国ドイツ語スピーチコンテスト」(非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナル主催、大阪・ハンプルク友好都市協会ほか共催)が大阪で開催され、本学の片岡裕美子さん(人文学部ドイツ語学科2年次生)が優秀賞を、西環奈さん(同)がチャレンジ賞を受賞しました。

同コンテストは、日独の国際交流を広く深める目的で行われている社会貢献活動の一環で、自分の夢や体験をもとにしたオリジナルの主張をドイツ語で発表(3分以内)するというものです。

プレコンテストを勝ち抜き、本選出場を決めた10人の中から、片岡さんは「異文化理解の第一歩」、西さんは「私を変えたもの」というテーマで発表し、厳正な審査(審査委員長:大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館総領事)の結果、見事、このたびの栄誉に輝きました。

片岡さん、西さん、受賞おめでとうございます。



左から 優秀賞の片岡さん、チャレンジ賞の西さん



授賞式で笑顔の片岡さん

本学の岳野さんと卒業生の藤原さんがドラフトで指名される

昨年10月30日(木)に開催されたプロ野球の2008年度新人選手選択会議(ドラフト会議)において、本学野球部の岳野竜也さん(スポーツ科学部スポーツ科学科4年次生)が埼玉西武ライオンズに第5位指名されました。

また、本学卒業生の藤原祐通さん(商学部卒業、現在、NTT西日本勤務)が東北楽天ゴールデンイーグルスに第1位指名され、二重の喜びとなりました。



埼玉西武ライオンズに指名された岳野さん



学生による「モラル向上週間」大切にしよう快適なキャンパス



昨年の10月24日(金)から29日(水)にかけて、「モラル向上週間」を行いました。これは学友会総務委員会が主催したもので、喫煙や駐輪などの学内に存在する問題を学生一人一人に考えてもらおうとともに、学生にマナーを守ってもらうことで、学内環境をより快適なものにすることを目的としたものです。

参加した学生たちは、モラル向上を喚起するためのポケットティッシュを配りながら、歩きタバコ、駐輪マナーなどに対して呼び掛けを行いました。



平成20年公認会計士試験に 本学学生が合格



◆将来は独立してコンサルタントになりたいと夢を語ってくれた今吉さん

昨年11月18日(火)、平成20年公認会計士試験合格者が発表されました。本学からは、難関(願書提出者総数21,168人)を乗り越え、今吉勝也さん(商学部経営学科3年次生)が合格しました。

今吉さんは、「他の学生も、公認会計士試験は難関試験だからと最初からあきらめるのではなく、果敢にチャレンジしてほしいです」と熱く語ってくれました。

今吉さん、合格おめでとうございます。

韓国語弁論大会で総領事賞を受賞

昨年11月1日(土)、第1回「高校生・大学生による韓国語弁論大会」(福岡国際大学主催、駐福岡大韓民国総領事館共催)が開催され、「日韓交流、将来像を想像して」のテーマで発表した江上慎太郎さん(人文学部東アジア地域言語学科2年次生)が総領事賞を受賞しました。

江上さん、受賞おめでとうございます。



◆表彰の時に総領事から掛けていただいた言葉に強く感動を覚えたという江上さん

第7回「中国語弁論大会」で最優秀賞を受賞

昨年11月30日(日)、第7回「中国語弁論大会」(福岡市主催)が福岡学生交流会館で開催され、井田尚影さん(人文学部東アジア地域言語学科4年次生)が「平和は自分からやって来ない」というテーマで発表し、最優秀賞に輝きました。井田さん、受賞おめでとうございます。

◆弁論大会では1番目の発表者であったので緊張したという井田さん



ほうらい 寶来名誉教授が「瑞宝中綬章」を受章

昨年秋の叙勲で、寶来和巳名誉教授が「瑞宝中綬章」を受章されました。これは同名誉教授が、長年にわたり高等教育と私学経営の両面に携わり、本学の充実発展に貢献するとともに、教育界・地域社会の発展に寄与した功績によるものです。

流通経済学の基礎理論の発展に尽くした 阿部名誉教授が「西日本文化賞」を受賞

西日本地域の学術、社会文化の発展に尽くした個人や団体に贈られる第67回「西日本文化賞」(西日本新聞社主催)を、阿部真也名誉教授が受賞されました。昨年11月3日(月)、流通経済学の基礎理論の発展に尽くし、九州各都市の商業調査、まちづくり提言活動に寄与した阿部名誉教授をはじめ、福岡ソフトバンクホークス最高顧問の王貞治氏など5氏1団体に、賞状と副賞、記念品が贈呈されました。

商学部第二部(夜間部)が 「社会人コース」履修生を募集

商学部第二部商学科(夜間部)では、会社員、中間管理職、経営者、熟年層等を対象に、1年間の履修期間でビジネス・マネジメントを体系的に学べる「社会人コース」を開設しています。コース修了者には、学校教育法に基づく履修証明書(社会人コース修了証)を授与します。1年間で修了できない場合には、さらに1年間の延長も可能です(追加受講料は不要)。

平成21年度履修生募集については、商学部事務室にお問い合わせください。

本館中庭ロータリーとA棟前広場に バラ園が誕生

1月5日(月)、本館中庭ロータリーで、「English Garden」(バラ園)の除幕式を行いました。このバラ園は、本学の創立75周年を祝って、社団法人有信会から寄贈されたものです。バラは40種480株にも及び、本館中庭ロータリーとA棟前広場に植栽されました。今春、色鮮やかな種々のバラが、新入生を温かく迎えてくれることでしょう。



第4回(平成20年度) 「高校生川柳コンクール」 入選者発表

福岡大学創立75周年記念事業の一環として実施した「第4回高校生川柳コンクール」には、全国157校の高校生6,277人から13,127作品のご応募がありました。大学内において厳正なる選考を行った結果、次のとおり大賞(福岡大学長賞)、優秀賞、入賞の各賞を決定しました。

入選作品 (作品は都道府県別に北から並んでいます)

大賞 (福岡大学長賞)

合格の
番号写メって
母見舞う

佐野 宏樹 (近畿大学附属福岡高等学校 3年生福岡県)

思いがけない受賞、ありがとうございます。応募したことを知らなかった母はとても驚いていました。この川柳は私が高校の合格発表の日、受験前の秋に一度目の大きな手術をした母に見せたかったという思いと、今度の大学の発表の時には写すぞという決意のもとに作りました。今は元気に過ごしている母にこの作品を見せることになると思います。これからも母に気を付けて長生きしてほしいと思います。

優秀賞

生きている こと知りたくて 息止める

渋谷 聖 (県立大川橋本高等学校 3年生福岡県)

音だけで 花火楽しむ 受験生

黒木 香奈子 (日向学院高等学校 3年生宮崎県)

入賞

作品	氏名	高校名	学年	所在地
携帯の 画面じゃなくて 僕をみて	飯村 大吾	北海道おといわぶ芸術工芸高等学校	3	北海道
思春期に 意外とやえない 「ありがとう」	大島 秀明	県立南部工業高等学校	2	青森県
今の自分 みんなのおかげ ありがとう	沢田 伸貴	県立金足農産高等学校	3	秋田県
友達と 過ごす時間が 宝物	菅生 あゆみ	県立金足農産高等学校	3	秋田県
わからない そんな時だけ 指名され	武田 なつみ	県立いわき総合高等学校	2	福島県
生活に 役立つ公式 見てみたい	斉藤 沙里	県立柏の葉高等学校	1	千葉県
思いやり 人だけでなく 地球にも	郡司 真子	都立調布南高等学校	3	東京都
学期末 成績赤くて 顔青し	中山 慧	白山高等学校	3	東京都
空っぽの 弁当にこめる ありがとう	井上 曉絵	岐阜女子高等学校	1	岐阜県
サイレンが 一点の重さ 物語る	菅根 佐介	静岡工業高等学校	3	静岡県
離任式 鬼の教師の 目に涙	堀島 昂	県立豊明高等学校	2	愛知県
親を見て 自分の夢に ふと気づく	日比 勇太	弥富高等学校	3	愛知県
君からの 言葉一つで うきしずみ	関本 仁美	県立熊野高等学校	3	和歌山県
サザエさん 明日の学校 思い出す	横瀬 陽子	近江高等学校	1	滋賀県
たくさんの 偶然があり 会えたんだ	浅野 智子	大谷高等学校	1	京都府
好きなんだ 毎日言える 演劇部	山形 優	岡山市立後楽高等学校	3	岡山県

空気読む しかし漢字は 読めません	高草 泰明	県立岡山一宮高等学校	2	岡山県
丸坊主 これが自分の クールビズ	平田 智大	県立岡山一宮高等学校	2	岡山県
『店長』と 寝言をいって バイトばれ	宇野 達彦	県立徳山高等学校	1	山口県
鬼教師 胸ポケットに 愛娘	呉 相祐	県立徳山高等学校	1	山口県
うとうとと ノートでもつれる 黒い線	竹重 博史	県立徳山高等学校	1	山口県
成績の 変化はまるで 二次関数	徳原 諒	県立徳山高等学校	1	山口県
夏休み 友達九州 僕補習	渡辺 健一朗	県立徳山高等学校	1	山口県
初夏の風 プランコ高く 足上げる	竹本 沙紀	県立高岡東高等学校	3	徳島県
辛いこと 笑いにチェンジ 日々前進	森 彩香	県立高岡東高等学校	3	徳島県
手花火に 君の横顔 照らされて	大山 真史	県立新居浜工業高等学校	1	愛媛県
カブト虫 昔は林 今は店	福田 祐気	県立新居浜工業高等学校	1	愛媛県
広がった 父の背中 今いすこ	田中 綾乃	九州女子高等学校	2	福岡県
いってきます 母とのケンカ後 ぎこちなく	池田 莉沙	つくば開成高等学校 福岡開成館	2	福岡県
携帯を 失くして気づく 依存症	松井 翔	つくば開成高等学校 福岡開成館	2	福岡県
髪切れと 怒る教師は 髪がない	堀岡 孝佳	福岡大学附属大濠高等学校	2	福岡県
隠してた テストが何故か 食卓に	下田 凌司	福岡大学附属大濠高等学校	2	福岡県
台風よ どうしてそこで 曲がるのか	進藤 龍之介	福岡大学附属大濠高等学校	2	福岡県

あなたとは 違うんですと 言われても	藤 健之	福岡大学附属大濠高等学校	2	福岡県
紅葉を しおりに次の 授業待つ	後藤 圭佑	県立長崎工業高等学校	3	長崎県
ゴメンねを 正面から言う 真の友	坂井 祐介	県立長崎工業高等学校	3	長崎県
大欠伸 周りに広がる ドミノかな	土井 卓	県立長崎工業高等学校	3	長崎県
くやしくて 雨と偽る その涙	西岡 紀栄	純心女子高等学校	2	長崎県
いりません その一言で エコになる	松本 南風	純心女子高等学校	2	長崎県
指先で つなぐ会話は 世界規模	浜崎 良康	長崎南山高等学校	3	長崎県
アルミ缶 オレの勘より 役に立つ	河野 達介	県立長崎工業高等学校	1	熊本県
先生に 相談受ける 二者面談	小田 明穂	県立情報科学高等学校	1	大分県
通学路 疲れを癒す 四季の彩(いろ)	河野 達也	県立情報科学高等学校	1	大分県
電車通 揺れてる君に 揺れる僕	斎藤 育美	県立情報科学高等学校	1	大分県
先生の 知識がつまった 子守歌	竹永 真史	県立情報科学高等学校	3	大分県
授業中 時計の針が 進まない	横山 淳二	県立宮崎工業高等学校	3	宮崎県
赤ベンの 減りに満足 受験生	角田 奈帆子	尚学館中学校・高等学校	3	宮崎県
「オグシオ」は 塩じゃないよ おじいちゃん	長友 理紗	日向学院高等学校	3	宮崎県
「夢がない」 だけになりたい 公務員	藤井 佑紀	日向学院高等学校	3	宮崎県
母悩む 血圧上昇 物価高	仲村 典華	県立宮崎高等学校	3	沖縄県

本誌のタイトル

FDは、「このキャンパスで在学生の皆さん一人一人が、美しく素敵な夢(FINE DREAM)を育んでくれるように」との願いを込めるとともに、あわせてFUKUOKA DAIGAKUの頭文字を構成し、愛称として名付けられています。

この曲を聴いてみてください

sakura (さくら)

Music : Sasha Vista
Lyrics : Ayaka Ishida

1番

踏みしめた古の石
眠る雲包む春風
舞い上がる煙
さくら色の庭
今は知らぬ二人
僕を見て、さくら

2番

過ぎた季節刻む階段
幾つもの足跡残し
時を超えた煙
さくら色の庭
覚えていられるでしょう?
また来たよ、さくら

3番

指をからめたような根
幹に映る月の光
幾すじもの煙
さくら色の庭
いつか帰る日まで
此処にいて、さくら



石田さんとヴェラ先生

本学学生が「ロシア語ⅡA」(担当教員:ヴェラ・ヤグボ(非常勤講師)の授業の中で翻訳した詞を、ロシア人のシンガーソングライターのSasha Vistaさんが歌い、これがロシアで静かなブームとなっているそうです。

そもそもこの歌の誕生は、Sasha Vistaさん自身が作詞作曲した「Ветка Сакуры」という歌に日本語の詞を付けてほしいと友人のヴェラ先生に依頼したことがきっかけ。ヴェラ先生は、授業の中で「翻訳に挑戦してみよう」と学生に呼び掛けた。その結果、先生の助言を受けながら最後まで熱心にやり遂げたのが石田彩夏さん(人文学部日本語日本文学専攻2年次生)でした。

約半年をかけて翻訳し、昨秋に完成した「sakura (さくら)」というこの歌は、インターネット検索で「Sasha Vista」と入力し、「myspace.com」のサイトで、無料で聴くことができます。

URL: <http://www.myspace.com/vistasasha>

記事訂正 ● FD第23号

8頁左下写真のキャプションの年表記
(誤) 1982年(昭和57年)
→(正) 1984年(昭和59年)

編集・発行
福岡大学広報委員会

FDに対するご感想をお寄せください。

より良い広報誌づくりのために、本誌に対する読者の皆さまからのご意見、ご感想などをお待ちしています。また、情報提供などございましたら下記までお寄せください。

〒814-0180
福岡市城南区七隈八丁目19-1
TEL 092-871-6631 (代)
✉ fupr@adm.fukuoka-u.ac.jp
<http://www.fukuoka-u.ac.jp>

印刷: 株式会社DNP西日本

(左から)丸石さん、池田さん、栗田さん

すずらん

少しでも安く提供してあげたい

写真の南蛮丼のほか、豚丼、唐揚げ丼、カルビー丼、塩カルビー丼、ソースカツ丼といった丼メニューは360円。大盛りは40円増し

360円の丼ものを中心としたお弁当屋さん。昼休みになるとすごい行列ができます。以前はレストランだったので、テイクアウトしたものを広い店内で食べることもできます。「厨房も含めて6人で回しているのですお昼の時間は大変。その日の流れを見て、予測しながら作っていますよ(笑)。人件費を抑えることで学生さんに少しでも安く提供できるように頑張っています。福大生はみんななまじめ。特に体育系クラブの学生さんは、春になると先輩が必ず新入生を連れて来てくれるからありがたいですね」と池田さん。

●店長 池田 正明さん

店は親子3人で切り盛りしています。左から政子さん、ご主人の弘さん、二代目の直樹さん

そば処 いとう

ボリュームにも味にもこだわっています

親子丼定食(730円)。丼もそばもほぼ1人前というにはかなりのボリューム。ざるそばも選べます

そばもうどんも手打ち、ダンも毎朝作るとい味へのこだわり。そして、体育系の学生でも満足できるというボリューム満点のセットメニューが自慢。

「ジャンボざるという通常より3倍の量のざるそばも770円を出しています。値段も天神のそば屋と比べると100円から150円くらい安いかな。卒業した学生さんや退職された職員の方もわざわざ来てくれますね。ここで18年も続いているのも、そんな福岡大学の関係者のおかげですよ」とご主人の弘さん。

●店長 伊藤 弘さん

地域の福大サポーター

vol.4 福大前～東七隈 編

福岡大学は地域の方々に支えられて今年で75周年。このコーナーでは、キャンパスの移り変わりを、そして学生たちのライフスタイルを見守ってきた大学周辺の方々にご登場いただき、福岡大学に対する思いを語っていただきます。

ヤマウチスポーツ

福大生だけで22チームある野球リーグのお世話も

●店長 山内 憲一さん

福大前で30年以上続くスポーツ用品店。スポーツ用品だけでなく、サークル向けのオリジナルTシャツの制作も行っています。ご主人の山内さんご自身も福岡大学商学部の卒業生で卓球部のOB。今は仕事の傍ら、福大生だけで22チームあるという軟式野球リーグのお世話もされています。

「自分たちが学生だったころと比べると福大生も随分変わったね。まず昔より頭がいい(笑)。でも、付き合いが淡白かな。昔の方が卒業してから付き合いが続くような人が多かった。これからは人とのつながりも大事にしてほしいですね」

お店にはこれまでに制作したオリジナルTシャツも飾ってあります

城南市民センター

若い力と地域を結ぶ役割を果たしていきたい

●館長 高瀬 正信さん

館内には500人収容のホールのほか、大小さまざまな会議室があります。

「ホールは音楽系を中心とする文化系サークルが発表の場として利用していますし、会議室もよくサークル活動で利用してもらっています」と高瀬さん。

昨年11月にセンター主催で行われた子育て支援イベント「のびのび夢ひろばじょうなん」では、福岡大学の児童文化研究会も実行委員の一員として参加したそうです。

「サークルの皆さんにとっても、いい実践の場になったと思います。これからも学生の皆さんの若い力と地域の方々と結ぶ役割を果たせたらうれしいですね」

ホールや会議室を利用するサークルも多い



学食探検隊



番外編

学食を紹介するコーナーの第4回目。

今回は番外編として、学生の憩いのスペースをご紹介します。

ラウンジ オアシス

8号館1階

【平常時営業時間】

月～金曜 8:30～19:00

土曜 9:00～14:30

ここ
でしか
買え
ない
お弁
当が
大人
気

広々とした店内にはさまざまなテーブルやソファがすらりと並び、人数や目的に応じてチョイスも可能。隣接したショップは第1・第2食堂と同じ「すずらん」による運営で、オリジナルのお弁当も大人気。お昼時には6台あるレジがフル回転するほどの人気です。また学生のニーズに応えるため、スナック類、ドリンク類の品ぞろえも豊富。特に新商品の品ぞろえには気を使っているそうです。



(左から)川崎さん、豊田さん、東野さん



鶏の炊き込みごはんにチキン南蛮を盛った南蛮丼(360円)は特に人気。

ラウンジ 和(なごみ)

法科大学院裏(工学部図書分室横)

【平常時営業時間】

月～金曜 8:00～18:00

土曜、日祝日休み

工学部の学生にとっては欠かせない存在

自動販売機とコピーサービス(1枚10円)、飲食類主体のコンビニ「Yショップ」が一体となった、工学部の学生に欠かせないラウンジ。人気はやはりカップ麺やお弁当、パン類。カップ麺用に用意されたポットには浄水器を使用した水が入られるなど、心配りも万全です。ここで買い物をして店の前にある広場でくつろぐ学生も多いようです。ゴミの処理などのマナーも大切にすね。



(左から)佐藤さん、原口さん、坂前さん



学生に人気でお昼前には棚にすらりと並び「大きなハム&たまご」(137円)と「おむすびオムライス」(135円)

アットホーム

福岡大学病院1階

【平常時営業時間】

月～金曜 10:00～14:00

土曜、日祝日休み

手
作
り
の
ク
ッ
キ
ー
や
ケ
ー
キ
が
大
人
気

皿田洋子人文学部教授が支援している福岡市福祉作業所「アットホーム」の販売所。手作りクッキーやケーキが「素朴でおいしい」と評判を呼び、診察帰りに立ち寄る外来受診者も多いそうです。中でも一番人気はバイクドチーズケーキ(ホール1,000円、カット150円)。人気商品は早めに売り切れることもしばしば。また、病院の職員には嬉野茶葉(100g入り 650円)も人気とのこと。



(左から)本郷さん、田口さん、松尾さん



ガトーショコラ、バイクドチーズケーキ(各150円)とクッキー類(各100円)



人をつくり、時代を拓く。

福岡大学